評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価

1010000 総合政策部企画課 所属

短縮番号 01270 北部地域振興交流拠点施設(仮称)推進事業

【基本情報】

計画次数 04 第二次総合振興計画/後期基本計画 006 快適で暮らしやすいまち 政策 政策達成課題 001 安全で快適な魅力あるまちをつくる 001 魅力的な中心市街地を整備する 施策 施策達成課題 001 魅力的な中心市街地を整備する 003 北部地域振興交流拠点施設(仮称)推進事業 基本事務事業 詳細事務事業 001 北部地域振興交流拠点施設(仮称)推進事業 事業期間 平成28年度 ~ 新規継続区分 継続 経費区分 経常経費 経常臨時区分 経常 ハード事業 事業主体 市 補助単独区分 単独 ハードソフト 企画課使用欄 事業の分類 根拠法令等 【課題】①北部地域振興交流拠点は、県市の共同事業であるため、県との調整が必要である。 ②県は、北部拠点を新たな県庁のショールームと位置付け、検討を進めており、県のスケジュールに合わせた検 討が必要である。 ③次年度以降の県市の役割分担、費用負担等が不透明である。 課題 分析 【分析】①令和3年度策定の埼玉県5か年計画に「北部地域振興交流拠点の検討推進」の位置付けが復活 ②北部地域振興交流拠点への導入機能は、これまで検討してきた産業振興機能のほか、県の熊谷地方庁舎や市役

③令和5年度から、市は、本庁機能の一部又は全部を北部拠点に移転する方向で検討を開始

【事業分析】 対象

旧テクノグリーンセンター事業用地(本町二丁目地内)

目的 北部地域振興交流拠点施設(仮称)を整備するために必要な調査・検討を行う。

手段 調整会議を実施する。

その他

【コスト】 (単位:千円) 令和 4年度 令和 5年度 令和 6年度 令和 7年度 令和 8年度 令和 9年度 令和10年度 予算額 計画額 計画額 決算額 計画額 計画額 56, 844 トータルコスト 003 16, 217 30, 645 事業費 159 231 30, 645 56, 844 国庫支出金 0 県支出金 0 0 0 0 地方债 0 0 その他 一般財源 159 231 30, 645 56, 844 人件費計 834 15, 986 一般職員(人) 0.11 2.19 0.00 0.00 0.00 0.00 2. 09 会計年度嘱託職員(人) 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 再任用職員(人) 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 会計年度補助職員(人) 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 その他経費 0 0 0 0

【関連予算情報】

予算所属名称 予算事業番号 予算事業 01-02-01-07-49-01-00-00 北部地域振興交流拠点施設(仮称)推進事業 総合政策部企画課

IP27P040

事務事業評価シート2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価

	指標名 単	単位 令和 4年度	1 771	□ 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
_									
<u>. л</u>	2性評価】 カテゴリ	評価の観り	ā			基準			ランク
	事中評価	事業の優先度		4 今	0の事務事業に優先 後しばらくの間、 ちらかといえば、	継続して実施す	る必要がある		E
1				2 目	討の余地あり 的が達成した	5			
	理由	県のスケジュール	に合わせ						
2	事中評価	事業の必要性		4 安 3 安 2 豊	民又は団体の生命 全・安心・健康を 全・安心・健康を かな市民生活の形	市民生活の実現 市民生活の水準 が成に寄与するサ	に不可欠なサ ー ビ 維持に役立つサー ービスである	スである -ビスである	4
	理由			1 市	i民生活の余暇・L	<u>グリエーション</u>	沽勁寺の允美に奇	' ラする	
3	事中評価事業主体の妥当			4 他 3 他 2 本	に同種・類似サー に同種・類似サー の公共団体ではB 市で民間団体等か	-ビスを提供して 間団体が同種・ 「同種サービスを	いるのは、他の公 類似サービスを提 提供しているが、	共団体のみ 供している 質量共に劣る	4
	理由			1 本	市で民間団体等か	*同種サーヒスを	提供しており、質	重共に勝る	
4	事中評価	事業の対象者		4 直 3 直 2 直	接の対象は、すべ 接の対象は、特定 接の対象は、特定 接の対象は、特定 接の対象は、特定 接の対象は、自身	E属性の広く一般 E属性の特定多数 E属性の一部の市	の不特定多数の市 の市民又は団体で 民又は団体である	ある	5
	理由								
5	事中評価	市民ニーズの把握		4 事 3 事 2 事	業規模や方法は、 業規模や方法は、 業規模や方法は、 業規模や方法は、 業規模や方法は、	対象者等の拡大 対象者等の具体 事業担当部門の	傾向のニーズによ 的なニーズにより 独自の考えで適宜	り見直してる 見直している '見直している	2
	<u>理由</u> 1 次評価結果】								
_	次評価結果』 業の方向性	事業拡大			予算の方				
1 2	欠コメント 4 0 0文字)	北部地域振興交流 点施設に、新県立 平成29年2月の 和3年度に策定か、 有識な者に果庁の た。 市とに 計画を策定を定	図書館を 県議会で らの計委員会 計委員会 中一機能	一体整備す 、埼玉県 5 に「北部地 を設置して ムにすると	の推進については、 する方向で、県、するか年計画への文記 が年計画への文記 地域振興交流拠点の に、検討が再開され という発言があり、	産業支援施設と 市で連絡調 市を理や予算執行 の検討推進」の位 れた。令和5年度 県・市で連絡調	検討を進めてきたの凍結という審議 置づけが復活し、 には、大野埼玉県 整会議を設置し、	こ。 養結果が示されたが 産業振興機能にて 利事から「北部が 本格的に検討を関	が、令 ついて 迎点」 開始し
	2次評価結果】	車業拡 士			ヌ笠の士	숙싸			
ě	業の方向性	事業拡大			予算の方	可性			

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価 所属 3510000 産業振興部商業観光課

「中心市街地活性化」まちづくり会社業務支援事業 短縮番号 01285

【基本情報】											
計画次数	04 第二次総合振興	計画/後期基本計画	Ī								
政策	006 快適で暮らしや	すいまち									
政策達成課題	001 安全で快適な魅	力あるまちをつくる	,								
施策	001 魅力的な中心市	001 魅力的な中心市街地を整備する									
施策達成課題	001 魅力的な中心市	001 魅力的な中心市街地を整備する									
基本事務事業	014 「中心市街地活	014 「中心市街地活性化」まちづくり会社業務支援事業									
詳細事務事業	001 「中心市街地活	001 「中心市街地活性化」まちづくり会社業務支援事業									
事業期間	平成25年度 ~										
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	臨時						
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業						
企画課使用欄	1	事業の分類	業務経費								
根拠法令等	中心市街地の活性化に関す	る法律・熊谷市中心	市街地活性化事業費補助金	交付要綱							
課題・分析	有効性、効率性とも好評価	のため、継続実施す	- -								
【事業分析】											

対象 まちづくり会社 目的 中心市街地活性化のため 手段 設立出資、活性化業務の委託、運営経費及び事業費の補助 その他

【コスト】 (単位:千円) 令和 5年度 令和 6年度 令和 7年度 令和 8年度 令和 9年度 令和 4年度 令和10年度 決算額 予算額 計画額 計画額 計画額 計画額 12, 460 トータルコスト 14 684 12, 460 10 525 事業費 9, 160 12, 160 12, 460 12, 460 国庫支出金 県支出金 0 0 0 地方债 0 0 0 その他 12, 460 一般財源 9, 160 12, 160 12, 460 人件費計 1,365 2, 524 0.00 0.00 0.00 0.00 一般職員(人) 0.18 0.33 0.00 会計年度嘱託職員(人) 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 再任用職員(人) 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 会計年度補助職員(人) 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 その他経費 0 0 0 0 【関連予算情報】

予算所属名称 予算事業番号 予算事業 01-07-01-02-29-01-00-00 「中心市街地活性化」まちづくり会社業務支援事業 産業振興部商業観光課

事務事業評価シート2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価

3510000 產業振興部商業観光課 所属

短縮番号 01285 「中心市街地活性化」まちづくり会社業務支援事業 上段:目標値 下段:実績値 【定量評価】 令和 4年度 令和 5年度 令和 6年度 令和 7年度 令和 8年度 令和 9年度 令和10年度 歩行者 自転車通行量 25, 000, 00 25, 000, 00 25, 000, 00 25, 000, 00 25, 000, 00 25,000.00 25, 000, 00 11, 375.00 11, 726.00 0.00 【定性評価】 カテゴリ 評価の観点 基準 ランク 事中評価 事業の優先度 5 他の事務事業に優先して実施する必要がある 4 今後しばらくの間、継続して実施する必要がある どちらかといえば、実施したほうがよい 2 目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり 1 事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した 理由事中評価 事業の必要性 5 市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである 4 安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである 3 安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである 豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである 1 市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する 理由 事中評価 事業主体の妥当性 5 他に同種・類似サービスを提供している主体(官民不問)なし 4 他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ 3 他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している 2 本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る 1 本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る 事中評価 事業の対象者 5 直接の対象は、すべての市民又は団体である 4 直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体 5 直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である 2 直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である 1 直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である 理由事中評価 市民ニーズの把握 事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる 4 事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる 3 事業規模や方法は、対象者等の具体的な二ーズにより見直している 2 事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している 1 事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない 【1次評価結果】 現状維持 予算の方向性 事業の方向性 1次コメント (400文字) 【2次評価結果】 現状維持 事業の方向性 予算の方向性 2次コメント (400文字)

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価 3510000 産業振興部商業観光課 所属

短縮番号 01286 「総合戦略」中心市街地活性化活動支援事業

【基本情報】											
計画次数	04 第二次総合振興	計画/後期基本計画	Ī								
政策	006 快適で暮らしや	すいまち									
政策達成課題	001 安全で快適な魅	力あるまちをつくる									
施策	001 魅力的な中心市	001 魅力的な中心市街地を整備する									
施策達成課題	001 魅力的な中心市	001 魅力的な中心市街地を整備する									
基本事務事業	015 「総合戦略」中	015 「総合戦略」中心市街地活性化活動支援事業									
詳細事務事業	001 「総合戦略」中	心市街地活性化活動	力支援事業								
事業期間	平成25年度 ~										
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常						
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業						
企画課使用欄	1	事業の分類	法定外事務								
根拠法令等	中心市街地の活性化に関す	る法律・熊谷市中心	市街地活性化事業費補助金	交付要綱							
	大型商業施設と専門店の連	携・協力体制の構築	とにより、商店街を構成する	専門店の魅カアップ	゚を支援し、市内商						
	業の競争力強化及び集客力	向上により市内商業	の活性化を図る必要がある.	0							
課題・分析											
2000											
[車業公析]											

【事業分析】 対象 まちなかモール委員会、中心市街地の大型商業施設 中心市街地活性化の活性化 目的 手段 中心市街地の大型商業施設5館が実施する共同販売促進事業を支援するとともに、まちなかモール委員会等の活 動を支援する。 その他

【コスト】								(単位:千円)
		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコ	コスト	6, 127	8, 031	5, 880	6, 150	0	0	0
事業費	t	3, 851	4, 666	5, 880	6, 150	0	0	0
国]庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県	支出金	0	0	0	0	0	0	0
地	!方債	0	0	0	0	0	0	0
そ	· の他	0	0	0	0	0	0	0
	·般財源	3, 851	4, 666	5, 880	6, 150	0	0	0
人件費	計	2, 276	3, 365	0	0	0	0	0
	·般職員(人)	0.30	0. 44	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会	計年度嘱託職員(人)	0.00	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再	任用職員(人)	0.00	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会	:計年度補助職員(人)	0.00	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	t t	0	0	0	0	0	0	0
【関連予算	情報】							

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-07-01-02-41-01-00-00	「総合戦略」中心市街地活性化活動支援事業	産業振興部商業観光課

事務事業評価シート2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価

所属 3510000 産業振興部商業観光課

「総合戦略」中心市街地活性化活動支援事業 短縮番号 01286 上段:目標値 下段:実績値 【定量評価】 令和 4年度 令和 5年度 令和 6年度 令和 7年度 令和 8年度 令和 9年度 令和10年度 事業実施数 10.00 10.00 10.00 10.00 10.00 10.00 10.00 6.00 5.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 歩行者・自転車通行量 (休日) 25, 000, 00 25, 000, 00 25,000.00 25.000.00 25, 000, 00 25, 000, 00 25,000,00 11. 375. 00 11, 726.00 0.00 【定性評価】 カテゴリ 評価の観点 基準 ランク 事中評価 事業の優先度 5 他の事務事業に優先して実施する必要がある 4 今後しばらくの間、継続して実施する必要がある どちらかといえば、実施したほうがよい 2 目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり 1 事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した 理由事中評価 事業の必要性 5 市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである 4 安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである 3 安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである 豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである 1 市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する 理由事中評価 事業主体の妥当性 5 他に同種・類似サービスを提供している主体(官民不問)なし 4 他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ 3 他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している 2 本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る 1 本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る 事中評価 事業の対象者 5 直接の対象は、すべての市民又は団体である 4 直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体 直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である 2 直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である 1 直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である 理由事中評価 市民ニーズの把握 5 事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる 4 事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる 3 事業規模や方法は、対象者等の具体的な二一ズにより見直している 2 事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している 1 事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない 理由 【1次評価結果】 現状維持 予算の方向性 事業の方向性 1次コメント (400文字) 【2次評価結果】 現状維持 事業の方向性 予算の方向性 2次コメント (400文字)

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価

3510000 産業振興部商業観光課 所属

短縮番号 01330 「中心市街地活性化」利便施設運営費補助事業

【基本情報】 計画次数 04 第二次総合振興計画/後期基本計画 006 快適で暮らしやすいまち 政策 政策達成課題 001 安全で快適な魅力あるまちをつくる 001 魅力的な中心市街地を整備する 施策 施策達成課題 001 魅力的な中心市街地を整備する 017 「中心市街地活性化」利便施設運営費補助事業 基本事務事業 詳細事務事業 「中心市街地活性化」利便施設運営費補助事業 事業期間 平成25年度 ~ 新規継続区分 継続 政策経費 経常臨時区分 経費区分 ソフト事業 事業主体 市 補助単独区分 単独 ハードソフト 企画課使用欄 事業の分類 業務経費 根拠法令等 熊谷市内に存する中核的施設及び中心市街地活性化基本計画に定められた施設に対する運営費補助金交付要綱 補助の目的は、駅送迎車両が駅前広場に滞留することによる混雑を緩和するためのティアラ21駐車場の30分無料 化や東口自由通路の維持管理に対するものであるが、その趣旨が広く理解されていない。 課題 分析

【事業分析】

対象 (株)ティアラ21 目的 中心市街地活性化に寄与するティアラ21の駐車場運営等に対し、平成16年11月から令和6年10月まで補助する。 手段 毎年、事業に要した経費のうち3,000万円を限度として補助する。 その他

【コスト】

(単位:千円) 令和 5年度 令和 6年度 令和 7年度 令和 8年度 令和 9年度 令和 4年度 令和10年度 決算額 予算額 計画額 計画額 計画額 決算額 計画額 31, 300 27, 706 トータルコスト 30, 379 29, 190 事業費 30, 000 30, 000 29, 190 27, 706 国庫支出金 県支出金 0 0 0 0 地方債 0 0 その他 一般財源 30,000 30,000 29, 190 27, 706 人件費計 379 1, 300 一般職員(人) 0.05 0.17 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 会計年度嘱託職員(人) 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 再任用職員(人) 会計年度補助職員(人) 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 その他経費 0 0 0 0

【関連予算情報】

予算事業番号 予算所属名称 予算事業 01-07-01-02-28-01-00-00 「中心市街地活性化」利便施設運営費補助事業 産業振興部商業観光課

IP27P040

事務事業評価シート2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価

3510000 產業振聞郵商業制火理

指標	標名	単位	Ž I	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	
明売上額		千円		355, 068. 00	355, 068. 00	355, 068. 00	355, 068.00	355, 068. 00	355, 068.00	355, 068. 0	
車場利用	日公物			927, 542. 00	927, 542. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	
#- <i>1</i> -55	n = xX	台		206, 114, 00 243, 971, 00	206, 114, 00 243, 971, 00	206, 114. 00 0. 00	206, 114. 00 0. 00	206, 114, 00 0, 00	206, 114. 00 0. 00	206, 114, 0 0, 0	
				0, 00 0, 00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0. 0 0. 0	
				0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
5 Lil. 572 /T	T 1			0, 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	
包性評価	<u>■』</u> カテゴ	11	1	評価の観点			基準			ランク	
事中評			事業	の優先度	5 他	の事務事業に優先		更がある		,,,,	
					4 今	後しばらくの間、	継続して実施する	る必要がある		1	
						ちらかといえば、				4	
						2 目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり 1 事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した					
理由					1 事	業開始時と比較し	美胞息義か入さく	、低下、又は、日	的か達成した		
事中評	価		事業	の必要性	5 市	民又は団体の生命	財産・権利の任	2階に不可欠かせ	ービスである		
						全・安心・健康な					
						全・安心・健康な			ビスである	:≺	
						かな市民生活の形					
理由					1 市	民生活の余暇・レ	クリエーション	古動等の充実に寄	与する		
事中評	価		事業	美主体の妥当性	5 他	に同種・類似サー	ドマを提供して	、スま休 (宮民不	関) た1		
7 1 11			1			に同種・類似サー				_	
						の公共団体では民				5	
						市で民間団体等が					
T00			+		1 本	市で民間団体等が	同種サービスを抗	是供しており、質	量共に勝る		
理由事中評	価		車当	の対象者	5	接の対象は、すべ	ての古足又は団だ	*でなる			
7-1 41	Ibra		17.7	(0) // (M) E		接の対象は、特定			民又は団体		
						接の対象は、特定				:≺	
						接の対象は、特定				0	
TED			+		1 直	接の対象は、自ら	希望する一部の下	5民又は団体であ	る		
理由事中評	補		市長	ミニーズの把握	5 🕸	業規模や方法は、	対象学等の士師は	ナナのニーブにト	リ目声してス		
- T- BT	- itm		1,172	(来观侯や万広は、 業規模や方法は、				_	
						業規模や方法は、				7	
						業規模や方法は、					
rm -t-			-		1 事	業規模や方法は、	過去を踏襲してお	らり、特に見直し	ていない		
理由 1 次評価											
業の方向			理状			予算の方向	5件				
			補助	金から負担金へる	と出の性質が変わ			心市街地活性化」	利便施設運営費料	前助事	
			業カ	、ら「中心市街地洋	5性化」利便施設	運営費支援事業に	変更したい。				
欠コメン	1										
火コノ - 4 0 0 3											
. 0 0 7											
o •/m === /=	E st III T										
2 次評価			担州	:維持		予算の方向	51性				
業の方向											

IP27P041

(400文字)

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価 所属 4010000 都市整備部都市計画課 短縮番号 00437 市街地等開発推進事業

基本 情報】										
計画次数	04 第二次総合振興	計画/後期基本計画	Ī							
政策	006 快適で暮らしや	すいまち								
政策達成課題	001 安全で快適な魅	001 安全で快適な魅力あるまちをつくる								
施策	001 魅力的な中心市	001 魅力的な中心市街地を整備する								
施策達成課題	001 魅力的な中心市	001 魅力的な中心市街地を整備する								
基本事務事業	001 市街地等開発推	進事業								
詳細事務事業	001 市街地等開発推	進事業								
事業期間	~									
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常					
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業					
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務							
根拠法令等	都市再開発法、土地区画整	理法、マンション建	替えの円滑等に関する法律							
課題・分析	現在、上之土地区画整理事	業、上石第一土地区	画整理事業、籠原中央第一:	土地区画整理事業の	3地区で施行中。					
「古娄八七】										

【事業分析】 対象 市民 市街地等開発事業の推進及び誘導。 目的 手段 市街地等開発事業について、県との協議及び調整並びに研修会へ参加する。 その他 土地区画整理事業や市街地再開発事業を始めとする面的整備事業を活用し、地域の特色を生かしたまちづくりを 進める。

コス	+]							(単位:千円)
		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
ータ	ルコスト	12, 762	14, 468	469	502	0	0	0
事:	業費	318	318	469	502	0	0	
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	318	318	469	502	0	0	
ᄉ	件費計	12, 444	14, 150	0	0	0	0	
	一般職員(人)	1.64	1.85	2.93	1.36	1. 36	1.36	1.0
	会計年度嘱託職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
	再任用職員 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
	会計年度補助職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
の他	経費	0	0	0	0	0	0	

_ +	
予算事業番号	予算所属名称
市街地等開発推進事業	都市整備部都市計画課
	予算事業番号 市街地等開発推進事業

IP27P040 IP27P041

事務事業評価シート2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価

短	属 縮番号 定量評価】	4010000 00437			部都市計画課 開発推進事業					上段:目標値	☑ 下段:実績値
Ė	指標	名	単位		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
市地	街地等開発 区画整理事	等業 (土 業数)	地区		3. 00 3. 00	3.00 3.00	3.00 0.00	3.00 0.00	3. 00 0. 00	3.00 0.00	3. 00 0. 00
					0. 00 0. 00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0. 00 0. 00	0.00 0.00	0. 00 0. 00
					0, 00 0, 00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0, 00 0, 00	0.00 0.00	0. 00 0. 00
					0. 00 0. 00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0. 00 0. 00	0.00 0.00	0. 00 0. 00
7	定性評価】		-								
1	事中評価	<u>カテゴリ</u>		事為	評価の観点	4 今 3 ど 2 目	の事務事業に優先 後しばらくの間、 ちらかといえば、 的をある程度達成 業開始時と比較し	継続して実施する 実施したほうが。 しており、実施の	る必要がある よい D有無について検		<u>5</u> 20
	理由			T		1 . 12-	X()// C 20 (X 0	70////////////////////////////////////	CIGAL COLOR	#1/4 AE/A G / E	
2	理出 事中評価 事業の必要性				《 の必要性	4 安 3 安 2 豊	民又は団体の生命 全・安心・健康な 全・安心・健康な かな市民生活の形 民生活の余暇・レ	市民生活の実現し 市民生活の水準線 成に寄与するサ-	こ不可欠なサ ー ビ 推持に役立つサー −ビスである	スである ビスである	4
L	理由			L.,							
3	事中評価事業主体の妥当性			4 他 3 他 2 本	に同種・類似サー に同種・類似サー の公共団体では民 市で民間団体等が 市で民間団体等が	・ビスを提供してし 間団体が同種・ が同種サービスを打	いるのは、他の公 頃似サ ー ビスを提 是供しているが、	共団体のみ 供している 質量共に劣る	4		
L	理由										
4	事中評価事業の対象者			4 直 3 直 2 直	接の対象は、すべ接の対象は、特定接の対象は、特定接の対象は、特定接の対象は、特定接の対象は、特定	属性の広く一般の 属性の特定多数の 属性の一部の市	の不特定多数の市 の市民又は団体で 民又は団体である	ある	3		
	理由									•	
5		理出 市民ニーズの把握 市民ニーズの把握			4 事 3 事 2 事	4 事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる 3 事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している 2 事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している					
Ļ	理由	E == 1									
$\overline{}$	1 次評価報 業の方向性			理州			予算の方向				
1 (次コメン I 400文号	> ?)					17.7.2001	• •	,		
	2次評価総 業の方向性			TE H	大維持		予算の方向				
2	来の方向! 次コメン 400文字	,		-961/	NPE II		(*	-9 1±	· ·		

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価 所属 0520000 市長公室政策調査課

短縮番号 01802 「総合戦略」スマートシティ推進事業

ATTAIN IN A CLOSE HOLE	1 1MCH2	- 7· N								
【基本情報】										
計画次数	04 第二次総合振興	計画/後期基本計画	1		·					
政策	006 快適で暮らしや	すいまち								
政策達成課題	001 安全で快適な魅力あるまちをつくる									
施策	002 暮らしやすく、	002 暮らしやすく、個性あるまちづくりを推進する								
施策達成課題	001 暮らしやすく、	個性あるまちづくり	を推進する							
基本事務事業	011 「総合戦略」ス	マートシティ推進事	業							
詳細事務事業	001 「総合戦略」ス	マートシティ推進事	業							
事業期間	令和 2年度 ~									
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常					
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業					
企画課使用欄		事業の分類								
根拠法令等										
(株的点で)										
【事業分析】										

対象 市内全域 AI・loTを活用した新しいまちづくりや行政効率化の推進により、地域の魅力と持続可能性の向上を図る。 目的 手段 熊谷スマートシティ推進協議会の運営、政策システムの立案・システム連携に係る検討等 その他

【コスト】 (単位:千円) 令和 5年度 令和 6年度 令和 7年度 令和 8年度 令和 9年度 令和 4年度 令和10年度 決算額 計画額 計画額 計画額 288, 368 147, 873 トータルコスト 73, 096 120, 847 事業費 50, 332 246, 375 120, 847 147, 873 国庫支出金 17, 489 93, 291 県支出金 4, 400 0 0 地方債 0 その他 一般財源 28, 443 153, 084 120, 847 147, 873 人件費計 22, 764 41, 993 一般職員(人) 3.00 5. 49 5.49 0.00 0.00 0.00 0.00 会計年度嘱託職員(人) 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 再任用職員(人) 会計年度補助職員(人) 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 その他経費 0 0 0 0

【関連予算情報】 予算所属名称 予算事業番号 予算事業 01-02-01-07-78-01-00-00 「総合戦略」スマートシティ推進事業 総合政策部企画課

事務事業評価シート2

短		度 進捗区分 市長公室政策調 「総合戦略」ス	査課	推進事業				上段:目標値	下段:実績値		
	指標名	単位 令	和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度		
T	定性評価】										
L	カテゴリ		平価の観点			基準			ランク		
1		事業の優	先度	4 今 3 ど 2 目	3 どちらかといえば、実施したほうがよい 2 目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり						
2	理由 事中評価 理由	事業の必	要性	4 安 3 安 2 豊	4 安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである 3 安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである 2 豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである						
3	事中評価	事業主体	の妥当性	5 他に同種・類似サービスを提供している主体(官民不問)なし 4 他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ 3 他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している 2 本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に務る 1 本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る							
4	理由 事中評価	事業の対	象者	4 直 3 直 2 直	接の対象は、すべ接の対象は、特定接の対象は、特定接の対象は、特定接の対象は、特定接の対象は、特定接の対象は、特定	E属性の広く一般(E属性の特定多数(E属性の一部の市)	の不特定多数の市 の市民又は団体で 民又は団体である	ある	5		
	理由				.1207/19/10(11:	7-10 E / O HP071	DECEMBER CO.	, ,			
5		市民二一	ズの把握	4 3 事 2	業規模や方法は、 業規模や方法は、 業規模や方法は、 業規模や方法は、 業規模や方法は、	対象者等の拡大 対象者等の具体 事業担当部門の	頃向のニーズによ 的なニーズにより 独自の考えで適宜	り見直してる 見直している 【見直している	5		
Ļ	理由 1 次評価結果】										
	業の方向性	事業拡大			予算の方	向性					
1	次コメント 400文字)	【熊谷市 シーンス コミュニ デジタル	誕生20周年記 ケッチコンテス ティラボイベン デザイン企画	スト(既存・冠 ント(既存・冠 (≒スマ ー トク	登事業として)	(既存•冠事業					
	2 次評価結果】										
2	業の方向性 次コメント 400文字)	事業拡大			予算の方	<u> </u>					

上段:目標値 下段:実績値

令和10年度

ランク

0.00

0.00

0.00

0.00

令和 9年度

0.00

0.00

0.00

0.00

事務事業評価シート1

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価 所属 4010000 都市整備部都市計画課

短縮番号 02032 都市空間情報デジタル基盤構築事業

ATTACK A COOL MINISTER	TI-1111 IN	>1			
【基本情報】					
計画次数	04 第二次総合振興	計画/後期基本計画	Ī		
政策	006 快適で暮らしや	すいまち			
政策達成課題	001 安全で快適な魅	力あるまちをつくる)		
施策	002 暮らしやすく、	個性あるまちづくり	を推進する		
施策達成課題	001 暮らしやすく、	個性あるまちづくり	を推進する		
基本事務事業	025 都市空間情報デ	ジタル基盤構築事業	ţ		
詳細事務事業	001 都市空間情報デ	ジタル基盤構築事業			
事業期間	令和 5年度 ~				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	臨時
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄		事業の分類			
根拠法令等					
	3 D都市モデルの市民によ	る情報蓄積、活用を	促進し、ニーズを掘り起こ	す機能が必要。	
	簡易な操作で、国が作成・	公表した3日都市モ	デルに他のデ ー タを重ねる	ことができる、汎用	的Web GISプラッ
	トフォーム「Re:Earth」を基盤として対応することが適当である。				
課題・分析					

【事業分析】 対象 市民 目的 官民連携による3D都市モデルのデータ蓄積・オープンデータの取組を進めるための汎用的Web GISのブラット フォームを整備し、地理空間データの可視化・分析、ニーズ把握、課題解決を目指す。 3 D都市モデルの市民による情報蓄積、活用促進 手段 民間ニーズの掘り起こし その他

【コスト】 (単位:千円) 令和 4年度 令和 5年度 令和 6年度 令和 7年度 令和 8年度 令和 9年度 令和10年度 決算額 予算額 計画額 計画額 計画額 計画額 トータルコスト 65 594 19.523 58, 050 事業費 58, 940 19, 523 58, 050 29, 469 9, 750 国庫支出金 29 025 県支出金 0 地方債 0 0 0 その他 一般財源 29, 471 9,773 29, 025 人件費計 6, 654 0.00 1.03 0.00 0.00 0.00 一般職員(人) 0.87 0.00 会計年度嘱託職員(人) 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 再任用職員(人) 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 会計年度補助職員(人) 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 その他経費 0 0 0 0 0 【関連予算情報】

予算事業番号 予算所属名称 予算事業

事務事業評価シート2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価 4010000 都市整備部都市計画課 所属 短縮番号 02032 都市空間情報デジタル基盤構築事業 【定量評価】 令和 4年度 令和 5年度 令和 6年度 令和 7年度 令和 8年度 0.00 3.00 10.00 10.00 0.00 5.00 0.00 0.00 0.00 まちづくり課題の可視 化について意見が得らり れた人の割合 0.00 50.00 50.00 50.00 0.00 0.00 81.00 0.00 0.00 0.00 【定性評価】 カテゴリ 評価の観点 基準 事中評価 事業の優先度 5 他の事務事業に優先して実施する必要がある 4 今後しばらくの間、継続して実施する必要がある どちらかといえば、実施したほうがよい 2 目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり 1 事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した 理由事中評価 事業の必要性 5 市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである 4 安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである 3 安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである 豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである 1 市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する 理由 事中評価 事業主体の妥当性 5 他に同種・類似サービスを提供している主体(官民不問)なし 4 他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ 3 他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している 2 本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る 1 本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る 事中評価 事業の対象者 5 直接の対象は、すべての市民又は団体である 4 直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体 直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である 2 直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である 1 直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である 理由事中評価 市民ニーズの把握 5 事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる 4 事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる 3 事業規模や方法は、対象者等の具体的な二ーズにより見直している 2 事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している 1 事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない 理由 【1次評価結果】 事業拡大 予算の方向性 ユースケース開発の内容を充実させる。

事業の方向性 3 D都市モデルの基盤整備としてLOD2 エリアの拡大を行うとともに、多世代に向けた利活用を促進するため 1次コメント (400文字)

【4.公計圖师本】			
事業の方向性事業	業拡大	予算の方向性	
2次コメント (400文字)			

IP27P040

IP27P041

「つか証無針甲】

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価

4510000 建設部管理課 所属 短縮番号 00345 地籍調査事業

【基本情報】

計画次数 第二次総合振興計画/後期基本計画 006 快適で暮らしやすいまち 政策 政策達成課題 001 安全で快適な魅力あるまちをつくる 002 暮らしやすく、個性あるまちづくりを推進する 施等 施策達成課題 001 暮らしやすく、個性あるまちづくりを推進する 014 地籍調査事業 基本事務事業 詳細事務事業 001 地籍調査事業 事業期間 平成17年度 ~ 新規継続区分 継続 経費区分 経常経費 経常臨時区分 ソフト事業 事業主体 市 補助単独区分 補助 ハードソフト 企画課使用欄 事業の分類 法定事務 国土調査法、国土調査法施行令、地籍調査作業規程準則 同運用基準、不動産登記法、土地基本法 根拠法令等 国・県からの補助金の配当額に応じ、計画した地区割りに準じて実施した。 課題・分析

【事業分析】

地籍調査事業実施区域 対象 目的 国土の開発及び利用等に資するため、国土の実態を科学的かつ総合的に調査するもので、その成果は、不動産登 記行政の基礎資料として活用され、土地の権利関係を明確にし、税負担を公平にするほか、公共事業の円滑な実 施や土地利用計画の策定、災害の際の円滑な復興などに必要な基礎資料となるものである。 手段 公共基準点を利用した測量や、土地所有者の立会いにより、毎筆の土地の境界・面積・所有者・地目及び地番を 明確にする。 実施済区域における成果資料の提供及び修正登記業務。 その他 C=地籍図根三角測量 D=地籍図根多角測量 E=一筆地調査 F I =細部図根測量 F II −1=一筆地測量 F II −2=地籍 図原図作成 G=地積測定 H=閲覧・地籍図複図及び地籍簿の作成

【コスト】

(単位:千円) 令和 4年度 令和 5年度 令和 6年度 令和 7年度 令和 8年度 令和 9年度 令和10年度 決算額 決算額 計画額 計画額 計画額 計画額 トータルコスト 63, 709 55 569 26 608 28, 371 事業費 52, 327 44, 096 26, 608 28, 371 国庫支出金 県支出金 34, 033 14, 481 12, 904 20, 059 地方債 0 0 その他 一般財源 18, 294 29, 615 13, 704 8, 312 人件費計 11, 382 11, 473 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 一般職員(人) 1.50 1. 50 会計年度嘱託職員(人) 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 再任用職員(人) 0.00 0.00 0.00 会計年度補助職員(人) 0.00 0 00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 その他経費 0 0 0 0 0

【関連予算情報】

IP27P040

予算事業番号 予算所属名称 予算事業 01-08-01-01-04-01-00-00 地籍調査事業 建設部管理課

事務事業評価シート2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価

4510000 建設部管理課 所属 短縮番号 00345 地籍調査事業

上段:目標値 下段:実績値 【定量評価】 単位 令和 4年度 | 令和 5年度 | 令和 6年度 | 令和 7年度 令和 8年度 令和 9年度 令和10年度 実施面積(着手済 0.37 0.16 0.00 0.00 0.00 0.00 0.37 0.16 0.00 0 00 0.00 0.00 0.00 成果管理面積 0.34 0.35 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.12 0.13 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 送付遅延地区解消(換 算面積での割合) 56 41 100.00 100.00 100 00 100.00 100.00 89.18 59.45 90.67 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00

【定性評価】			
カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
事中評価 事	業の優先度	5 他の事務事業に優先して実施する必要がある	
		4 今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	A
		3 どちらかといえば、実施したほうがよい	
1'1		2 目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
		1 事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
理由			
事中評価 事	業の必要性	5 市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	
		4 安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
		3 安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	<i>'</i>
		2 豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	_
		1 市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
理由			
事中評価 事	業主体の妥当性	5 他に同種・類似サービスを提供している主体(官民不問)なし	
		4 他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	4
3		3 他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	4
"		2 本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
		1 本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
理由			
事中評価 事	業の対象者	5 直接の対象は、すべての市民又は団体である	
		4 直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
		3 直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	·/
"		2 直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	_
		1 直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
理由			
事中評価 市	5民ニーズの把握	5 事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大の二一ズにより見直してる	
		4 事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
5		3 事業規模や方法は、対象者等の具体的な二一ズにより見直している	5
"		2 事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
		1 事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
理由			
【1次評価結果】			

現状維持 予算の方向性 事業の方向性 補助金は、実施予定地区が市街化調整区域から市街化区域に移行したことから、要望額に近い額の補助金交付を 見込んでいたが、要望額の半額であったことから、来年度も同様の額の交付が見込まれる。 人件費や作業単価の上昇により、当初見込んでいた設計額を超える設計となったことから昨年度より拡大した予 1次コメント 算を見込んでいる。 妻沼小島地区は一度補助金を利用して調査を行っているため、国や県の補助金は再度交付されない事業となって (400文字) いるが、令和6年度事業が完了する見込みであり、予算は縮小すると見込んでいる。 地籍測量においても順次認められ始めている最新技術の積極的な利用により、経費の抑制につながっている。

【2次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2次コメント			
2 次コメント (400文字)			
, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			

短縮番号 00440 道路管理経費

【 本 个 和 】						
計画次数	04	第二次総合振興	計画/後期基本計画	Ī		
政策	006	快適で暮らしや	すいまち			
政策達成課題	001	安全で快適な魅	力あるまちをつくる)		
施策	002	暮らしやすく、	個性あるまちづくり	を推進する		
施策達成課題	001	暮らしやすく、	個性あるまちづくり	を推進する		
基本事務事業	015	道路管理経費				
詳細事務事業	001	道路管理経費				
事業期間	平成25年度	~				
新規継続区分	継続		経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市		補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	2		事業の分類	法定事務		
根拠法令等						
課題・分析						

 【事業分析】

 対象
 市民

 目的
 道水路の適正かつ円滑な維持管理を図る

 手段
 道路台帳の維持管理、道路等敷地の土地借上、購入、官民境界の確認事務を行う

 その他
 道路台帳修正、官民境界確認等の業務委託や、道路敷地の借上、未登記の道路敷地の土地購入など、道水路の財産管理業務に要する経費

【コスト】 (単位:千円) 令和 5年度 令和 6年度 令和 7年度 令和 8年度 令和 9年度 令和 4年度 令和10年度 決算額 予算額 計画額 計画額 計画額 計画額 218, 263 84, 417 トータルコスト 217, 025 60, 533 事業費 40, 984 40, 807 60, 533 84, 417 国庫支出金 0 県支出金 0 0 0 0 地方债 40, 984 40, 807 60, 533 84, 417 その他 一般財源 177, 456 176, 041 人件費計 0 一般職員(人) 23.20 23. 20 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 会計年度嘱託職員(人) 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 再任用職員(人) 会計年度補助職員(人) 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 その他経費 0 0 0 0 0

| 下算事業 | 予算事業 | 予算事業番号 | 予算所属名称 | 1-08-02-02-02-01-00-00 | 道路管理経費 | 建設部管理課

事務事業評価シート2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価

	量評価】								下段:実績
	指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
			0. 00 0. 00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0. 00 0. 00	0.00 0.00	0. (0. (
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. (
			0.00	0.00	0.00	0.00	0, 00	0.00	0.0
	0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00					0.00	0.		
	0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00							0.	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.
<u>,</u> 定	性評価】 カテゴリ		評価の観点			基準			ランク
7	事中評価	寻	事業の優先度		の事務事業に優先				
					<u>後しばらくの間、</u> ちらかといえば、				1
1					的をある程度達成			討の余地あり	4
					業開始時と比較し				
	理由 事中評価	3	事業の必要性	5 市	民又は団体の生命	i・財産・権利の(保障に不可欠なサ	ービスである	
				4 安	全・安心・健康な	市民生活の実現し	- 不可欠なサービ	スである	1
2					全・安心・健康な			ビスである	4
					かな市民生活の形 民生活の余暇 レ			与する	•
	理由			1 1 1/12	八工/10/小城 レ	772 737	1到500元天に 1	770	
	事中評価	事	事業主体の妥当性		に同種・類似サー				
					に同種・類似サ ー の公共団体では民				1
1					市で民間団体等が				4
					市で民間団体等が				
	理由 事中評価	7	事業の対象者	1 - 1-					
ı	争中評価	9	#未の対象有		接の対象は、すべ 接の対象は、特定			民又は団体	_
4					接の対象は、特定				h
.					接の対象は、特定				
	理由			1 直	接の対象は、自ら	希望する一部の下	5氏又は団体であ	<u>ර</u>	
	事中評価	त	市民ニーズの把握	5 事	業規模や方法は、	対象者等の大幅技	太大のニーズによ	り見直してる	
				4 事	業規模や方法は、	対象者等の拡大値	頁向のニーズによ	り見直してる	\mathbf{O}
5					業規模や方法は、 業規模や方法は、				J
					業規模や方法は、				
	理由								
_	次評価結果】 の方向性	我	見状維持		予算の方向				
		i	直路台帳附図 (江南地	也区)電子化に伴			•		
次	スコメント								
(4	00文字)								
	次評価結果】	I I I	見状維持		予算の方向	⇒ ##			
					丁昇の力	H) II			
	の方向性		9911279						
			W. W. L. J. J.						
業	(の方向性	,	,						
業		9	, W. 17						

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価 所属 4010000 都市整備部都市計画課

短縮番号 02016 既存建築物バリアフリー改修促進事業

計画次数	【基本情報】					
政策達成課題 001 安全で快適な魅力あるまちをつくる 施策 003 人にやさしいまちをつくる 施業連成課題 001 人にやさしいまちをつくる 基本事務事業 016 既存建築物パリアフリー改修促進事業 事業期間 令和 5年度 ~ 経費区分 政策経費 経常臨時区分 経常 事業主体 市 補助単独区分 単独 ハードソフト ソフト事業 企画課使用欄 事業の分類 イードソフト ソフト事業 根拠法令等 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律、社会資本整備総合交付金交付要網(国土交通省) 課題・高齢者や障がい者など全での人が暮らしやすいユニパーサルデザインの発想に基づくまちづくり分析:民間の既存建築物のパリアフリー化が不可欠 課題・分析	計画次数	04 第二次総合振興	計画/後期基本計画			
施策 003 人にやさしいまちをつくる 施策達成課題 001 人にやさしいまちをつくる 基本事務事業 016 既存建築物バリアフリー改修促進事業 詳細事務事業 001 既存建築物バリアフリー改修促進事業 事業期間 令和 5年度 ~ 新規継続区分 継続 経費区分 政策経費 経常臨時区分 経常 事業主体 市 補助単独区分 単独 ハードソフト ソフト事業 企画課使用欄 事業の分類 根拠法令等 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律、社会資本整備総合交付金交付要網(国土交通省) 課題:高齢者や障がい者など全ての人が暮らしやすいユニバーサルデザインの発想に基づくまちづくり 分析:民間の既存建築物のバリアフリー化が不可欠 課題・分析	政策	006 快適で暮らしや	すいまち			
施策達成課題	政策達成課題	001 安全で快適な魅	力あるまちをつくる	,		
基本事務事業 016 既存建築物パリアフリー改修促進事業 詳細事務事業 001 既存建築物パリアフリー改修促進事業 事業期間 令和 5年度 ~ 経費 経常臨時区分 経常 事業主体 市 補助単独区分 単独 ハードソフト ソフト事業 企画課使用欄 事業の分類 (国主交通省) 根拠法令等 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律、社会資本整備総合交付金交付要額(国土交通省) 課題: 高齢者で障がい者など全ての人が暮らしやすいユニパーサルデザインの発想に基づくまちづくり分析:民間の既存建築物のパリアフリー化が不可欠 課題・分析	施策	003 人にやさしいま	ちをつくる			
詳細事務事業 001 既存建築物バリアフリー改修促進事業 事業期間 令和 5年度 ~ 新規継続区分 継続 経費区分 政策経費 経常臨時区分 経常 事業主体 市 補助単独区分 単独 ハードソフト ソフト事業 企画課使用欄 事業の分類 根拠法令等 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律、社会資本整備総合交付金交付要網(国土交通省) 課題:高齢者や障がい者など全ての人が暮らしやすいユニバーサルデザインの発想に基づくまちづくり分析:民間の既存建築物のバリアフリー化が不可欠 課題・分析	施策達成課題	001 人にやさしいま	ちをつくる			
事業期間 令和 5年度 ~ 設策経費 経常臨時区分 経常 事業生体 市 補助単独区分 単独 ハードソフト ソフト事業 企画課使用欄 事業の分類 <t< td=""><th>基本事務事業</th><td>016 既存建築物バリ</td><td>アフリー改修促進事</td><td>業</td><td></td><td></td></t<>	基本事務事業	016 既存建築物バリ	アフリー改修促進事	業		
新規継続区分 継続 経費区分 政策経費 経常臨時区分 経常 事業主体 市 補助単独区分 単独 ハードソフト ソフト事業 企画課使用欄 事業の分類 <t< td=""><th>詳細事務事業</th><td>001 既存建築物バリ</td><td>アフリー改修促進事</td><td>業</td><td></td><td></td></t<>	詳細事務事業	001 既存建築物バリ	アフリー改修促進事	業		
新規継続区分 継続 経費区分 政策経費 経常臨時区分 経常 事業主体 市 補助単独区分 単独 ハードソフト ソフト事業 企画課使用欄 事業の分類 <t< td=""><th></th><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></t<>						
事業主体 市 補助単独区分 単独 ハードソフト ソフト事業 企画課使用欄 事業の分類 根拠法令等 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律、社会資本整備総合交付金交付金交付金委(国土交通省) 課題:高齢者や障がい者など全ての人が暮らしやすいユニパーサルデザインの発想に基づくまちづくり 分析:民間の既存建築物のパリアフリー化が不可欠 課題・分析	事業期間	令和 5年度 ~				
企画課使用欄 事業の分類 根拠法令等 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律、社会資本整備総合交付金交付乗標 国土交通省) 課題:高齢者や降がい者など全ての人が暮らしやすいユニバーサルデザインの発想に基づくまちづくり 分析:民間の既存建業物のバリアフリー化が不可欠 課題・分析	新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
根拠法令等 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律、社会資本整備総合交付金交付要網(国土交通省) 課題:高齢者や障がい者など全ての人が暮らしやすいユニパーサルデザインの発想に基づくまちづくり 分析:民間の既存建築物のパリアフリー化が不可欠 課題・分析	事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
課題:高齢者や障がい者など全ての人が暮らしやすいユニバーサルデザインの発想に基づくまちづくり 分析:民間の既存建築物のパリアフリー化が不可欠 課題・分析	企画課使用欄		事業の分類			
課題:高齢者や障がい者など全ての人が暮らしやすいユニバーサルデザインの発想に基づくまちづくり 分析:民間の既存建築物のパリアフリー化が不可欠 課題・分析						
分析:民間の既存建築物のパリアフリー化が不可欠 課題・分析	根拠法令等	高齢者、障害者等の移動等	の円滑化の促進に関	する法律、社会資本整備総	合交付金交付要綱(国土交通省)
_【事業分析】					ンの発想に基づくま	ちづくり
	【事業分析】					

熊谷市バリアフリー基本構想(R3改定)に定める重点整備地区内の既存の生活関連施設において、高齢者等の利用に配慮した整備等を行う事業者 対象 高齢者や障がい者など全ての人が暮らしやすいユニバーサルデザインの発想に基づくまちづくりを進める。 目的 手段 既存建築物のバリアフリー改修に係る整備費の一部を補助する。 その他

【コスト】							(単位:十円)
	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	0	4, 971	5, 000	5, 000	30, 000	30, 000	30, 00
事業費	0	0	5, 000	5, 000	30, 000	30, 000	30, 00
国庫支出金	0	0	0	2, 500	15, 000	15, 000	15, 00
県支出金	0	0	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	
一般財源	0	0	5, 000	2, 500	15, 000	15, 000	15, 00
人件費計	0	4, 971	0	0	0	0	
一般職員(人)	0.00	0.65	0.87	0.00	0.00	0.00	0.0
会計年度嘱託職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
再任用職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
会計年度補助職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
その他経費	0	0	0	0	0	0	

【関連予算情報】 予算事業番号 予算所属名称 予算事業

事務事業評価シート2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価

所属 4010000 都市整備部都市計画課

	2量評価】 指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	下段:実績 令和10年月
請	者数		0.00	2.00	4.00	4.00	4.00	4.00	0.
		件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.
定	'性評価】								
7	<u>カテゴ</u> 事中評価		評価の観点 業の優先度	5 他	の主攻古参に原仕	基準	5.48 to 7	-	ランク
Ì	→ + e+ im	7	未の後元及		<u>の事務事業に優先</u> 後しばらくの間、				_
					ちらかといえば、				/
				2 目	的をある程度達成	しており、実施の	り有無について検	討の余地あり	
-				1 事	業開始時と比較し	実施意義が大きく	《低下、又は、目	的が達成した	
	理由								
I	事中評価	事	業の必要性		民又は団体の生命				
					全・安心・健康な				9
					全 安心 健康な かな市民生活の形			ヒ人じめる	J
					民生活の余暇・レ			与する	
ł	理由			1 1 103	以工用07小城 D	<i>// / / / / / / / / / / / / / / / / / /</i>	コಖサいルスにも	7,0	
	事中評価		業主体の妥当性	5 他	に同種・類似サー	ビスを提供してい	\る主体(官民不	間) なし	
		- 1			に同種・類似サー				
					の公共団体では民				
					市で民間団体等が				
ļ				1 本	市で民間団体等が	同種サービスを打	是供しており、質	量共に勝る	
	理由								
ŀ	事中評価	事	業の対象者		接の対象は、すべ				
					接の対象は、特定				$\boldsymbol{\gamma}$
1					接の対象は、特定 接の対象は、特定				2
					接の対象は、自ら				
ı	理由				1207/196101 11-5	10 E / O 100/1	722 GE H. C 03		
	事中評価	市	i民ニーズの把握	5 事	業規模や方法は、	対象者等の大幅技	太大のニーズによ	り見直してる	
					業規模や方法は、				\sim
				3 事	業規模や方法は、	対象者等の具体的	勺な二一ズにより	見直している	2
١					業規模や方法は、				_
ļ				1 事	業規模や方法は、	過去を踏襲してお	らり、特に見直し	ていない	
	理由								
-	次評価結果】	IB.	!状維持		予算の方向	51 AA			
*	きの方向性	- 50	7人不住行			<u>1111</u>			
1	マコメント								
	100文字)								
_	_== (\pi d + \pi \)								
	次評価結果】	l _{v0}	LL 6# +±		Z # C +-	5 ML			
*	きの方向性	規	以状維持		予算の方向	可性			
	マコメント								
-	(00文字)								

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価 4010000 都市整備部都市計画課 所属 景観形成事業

短縮番号 00850

【基本情報】					
計画次数	04 第二次総合振興	計画/後期基本計画	Ī		
政策	006 快適で暮らしゃ	すいまち			
政策達成課題	002 熊谷らしい景観	見を守り、つくり、育	「てる		
施策	001 熊谷らしい都市	i景観をつくり、歴史	:、田園景観を守る		
施策達成課題	001 熊谷らしい都市	i景観をつくり、歴史	、田園景観を守る		
基本事務事業	002 景観形成事業				
詳細事務事業	001 景観形成事業				
事業期間	~				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		
根拠法令等	景観法、熊谷市景観計画及	び熊谷市景観条例、	屋外広告物法及び熊谷市屋	外広告物条例	
	景観計画、景観条例に基づ	がく届出及び屋外広告	物条例に基づく許可申請に	対する審査、助言を	行った。
	また、景観意識を高めるた	: め景観写真展を開催	il している。		
課題・分析					
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1					

【事業分析】 対象 市民及び事業者 目的 景観計画及び景観条例に基づく届出に対する審査・助言及び市民、事業者・団体に対して指導・意識啓発等を行 うことにより、市民が美しいと思う景観の形成誘導を図る。 また、屋外広告物条例に基づく許可申請に対する審査・指導等を行い、景観形成を誘導する。 手段 届出が景観形成基準に適合するか審査・助言を行うとともに、地区の魅力ある景観形成を目的とした活動団体等 また、屋外広告物条例に基づく許可申請が審査基準等に適合するか審査・助言を行う。 景観審議会の開催 その他

【コスト】 (単位:千円) 令和 5年度 令和 6年度 令和 7年度 令和 8年度 令和 9年度 令和 4年度 令和10年度 決算額 決算額 予算額 計画額 計画額 計画額 計画額 トータルコスト 10 926 585 635 12, 110 事業費 121 65 585 635 0 国庫支出金 0 0 県支出金 0 0 0 0 0 地方債 0 0 その他 一般財源 121 65 585 635 人件費計 11 989 10, 861 0 1.08 0.00 0.00 一般職員(人) 1.58 1. 42 1.50 0.00 会計年度嘱託職員(人) 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 再任用職員(人) 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 会計年度補助職員(人) 0 00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 その他経費 0 0 0 0 0

【関連予算情報】 予算事業

予算所属名称 予算事業番号 01-08-04-01-17-01-00-00 景観形成事業 都市整備部都市計画課

IP27P040

事務事業評価シート2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価 4010000 都市整備部都市計画課 所属 短縮番号 00850 景観形成事業 上段:目標値 下段:実績値 【定量評価】 単位 令和 4年度 令和 5年度 令和 6年度 令和 7年度 令和 8年度 令和 9年度 令和10年度 能谷市の景観を美しし 53.00 55.00 55.00 55.00 55.00 55.00 ど思う市民の割合 46 70 45 40 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 住み続けたいと思う市 民の割合 55 00 55 00 55.00 55.00 55.00 55 00 55.00 44 30 47.70 0.00 【定性評価】 カテゴリ 評価の観点 基準 ランク 事中評価 事業の優先度 5 他の事務事業に優先して実施する必要がある 4 今後しばらくの間、継続して実施する必要がある どちらかといえば、実施したほうがよい 2 目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり 1 事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した 理由事中評価 事業の必要性 5 市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである 4 安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである 3 安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである 豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである 1 市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する 理由 事中評価 事業主体の妥当性 5 他に同種・類似サービスを提供している主体(官民不問)なし 4 他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ 3 他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している 2 本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る 1 本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る 事中評価 事業の対象者 5 直接の対象は、すべての市民又は団体である 4 直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体 5 直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である 2 直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である 1 直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である 理由事中評価 市民ニーズの把握 事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大の二一ズにより見直してる 4 事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる 3 事業規模や方法は、対象者等の具体的な二ーズにより見直している 2 事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している 1 事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない 理由 【1次評価結果】 事業拡大 予算の方向性 事業の方向性 【熊谷市誕生20周年記念】 例年行っている「くまがや景観写真展」の事業を拡大し「くまがや景観フォトコンテスト」として、展示のみな らず、コンテスト形式を採用し優れた作品については、出展者に対して記念品及び副賞を授与。 1次コメント また、出展作品に関しては、3D都市モデルを活用しWebGISツール「Re:Earth」上で作品を公開することで、市 (400文字) 内外に対しても熊谷の景観の魅力を広める。 【2次評価結果】 事業拡大 事業の方向性 予算の方向性 2次コメント

IP27P041

(400文字)

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価 4010000 都市整備部都市計画課 所属 短縮番号 02017 景観誘導地区景観まちづくり事業

【基本情報】					
計画次数	04 第二次総合振興	計画/後期基本計画			
政策	006 快適で暮らしや	すいまち			
政策達成課題	002 熊谷らしい景観	を守り、つくり、育	iてる		
施策	001 熊谷らしい都市	景観をつくり、歴史	!、田園景観を守る		
施策達成課題	001 熊谷らしい都市	景観をつくり、歴史	!、田園景観を守る		
基本事務事業	008 景観誘導地区景	観まちづくり事業			
詳細事務事業	001 景観誘導地区景	観まちづくり事業			
事業期間	令和 5年度 ~				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	臨時
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄		事業の分類			
根拠法令等	景観法、熊谷市景観条例及	び景観計画			
	景観計画に基づいた良好	な景観形成を推進す	るため、景観意識の醸成や	担い手の育成等が必	必要となる。
	・良好な景観形成を図るた	めには、市民及び事	業者等の協力が不可欠であ	る。	
	・市民や事業者等との協働	により景観意識の醸	成や担い手の育成を図り、	市民及び事業者等に	こよる主体
課題・分析	的、持続的な取組を支援	する。			
10 Maria					
Fale alls / Lat Y					

【事業分析】 市民及び来訪者 対象 景観誘導地区のうち「妻沼聖天山周辺歴史景観誘導地区」で進めてきた取組を継続するとともに「熊谷中心市街 目的 地にぎわい景観誘導地区」へ拡大することにより、市民一人ひとりが愛着と誇りを持つことができる景観の継承 と創造に資するまちづくりを目指す。 手段 良好な景観の形成 シティプロモーションへの寄与 関係団体、機関との協働 連携促進 その他

【コスト】 (単位:千円) 令和 5年度 令和 6年度 令和 7年度 令和 8年度 令和 9年度 令和 4年度 令和10年度 予算額 決算額 計画額 計画額 計画額 計画額 トータルコスト 12, 402 751 17 986 事業費 317 751 17, 986 国庫支出金 0 7 829 0 県支出金 0 0 0 0 地方債 0 0 その他 一般財源 317 751 10, 157 人件費計 12, 085 0 0.00 0.98 1.20 0.00 0.00 一般職員(人) 1. 58 0.00 会計年度嘱託職員(人) 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 再任用職員(人) 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 会計年度補助職員(人) 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 その他経費 0 0 0 0 0

【関連予算情報】 予算事業番号 予算所属名称 予算事業

IP27P040

事務事業評価シート2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価 4010000 都市整備部都市計画課 所属 短縮番号 02017 景観誘導地区景観まちづくり事業 上段:目標値 下段:実績値 【定量評価】 令和 4年度 | 令和 5年度 | 令和 6年度 | 令和 7年度 令和 8年度 令和 9年度 令和10年度 能谷市の景観を美しし 53.00 55.00 55.00 55.00 55.00 55.00 ど思う市民の割合 46 70 45 40 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 住み続けたいと思う市 民の割合 55 70 55 70 55.70 55.70 55.70 55 70 55.70 44.30 47.70 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 【定性評価】 カテゴリ 評価の観点 基準 ランク 事中評価 事業の優先度 5 他の事務事業に優先して実施する必要がある 4 今後しばらくの間、継続して実施する必要がある どちらかといえば、実施したほうがよい 2 目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり 1 事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した 理由事中評価 事業の必要性 5 市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである 4 安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである 3 安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである 豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである 1 市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する 理由 事中評価 事業主体の妥当性 5 他に同種・類似サービスを提供している主体(官民不問)なし 4 他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ 3 他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している 2 本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る 1 本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る 事中評価 事業の対象者 5 直接の対象は、すべての市民又は団体である 4 直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体 5 直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である 2 直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である 1 直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である 理由事中評価 市民ニーズの把握 事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる 4 事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる 3 事業規模や方法は、対象者等の具体的な二ーズにより見直している 2 事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している 1 事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない 理由 【1次評価結果】 事業の方向性 事業拡大 予算の方向性 熊谷市景観計画に基づく熊谷中心市街地にぎわい景観誘導地区において未策定であった「景観まちづくりビジョ ン」の新規策定に係る費用及び妻沼分団車庫のシャッターを周辺景観に配慮した色彩・意匠に改修する取組を追 加したことによる増額。 1次コメント (400文字) 【2次評価結果】 事業拡大 事業の方向性 予算の方向性

IP27P041

2次コメント (400文字)

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価

所属 4520000 建設部道路課 短縮番号 00474 道路整備事業

A型相面 つ 00千/千	進加正洲于木							
【基本情報】								
計画次数	04	第二次総合振興	計画/後期基本計	由				
政策	006	快適で暮らしや	すいまち					
政策達成課題	003	機能的で安全な	道路を整備する					
施策	001	生活道路の整備	iを進める					
施策達成課題	001	生活道路の整備	iを進める					
基本事務事業	006	道路整備事業						
詳細事務事業	001	道路整備事業						
事業期間		~						
新規継続区分	継続		経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常		
事業主体	市		補助単独区分	単独	ハードソフト	ハード事業		
企画課使用欄	1		事業の分類	法定事務				
根拠法令等	道路法							
	道路整備列	延長は目標値に近	くなっているが、	要望件数に対して整備完了件	数が追い付かず整備	情率が上がらない状		
	況である。							
課題・分析								
M-1-100								
1								

 【事業分析】

 対象
 挟あい道路の利用者

 目的
 道路冠水の防止、交通安全の確保、生活排水の処理先の確保による良好な生活環境の整備。

 手段
 陳情や要望に基づく側溝整備や道路拡幅等の工事

 その他
 平成20年度から、熊谷市道路事業評価システムにより公平かつ効果的に事業を実施している。

【コスト】 (単位:千円) 令和 5年度 令和 6年度 令和 7年度 令和 8年度 令和 9年度 令和 4年度 令和10年度 決算額 決算額 予算額 計画額 計画額 計画額 計画額 475, 369 トータルコスト 449, 012 378, 245 446 740 事業費 396, 579 319, 654 446, 740 475, 369 国庫支出金 40,000 82, 653 32, 405 59, 255 県支出金 0 地方债 0 その他 一般財源 313, 926 287, 249 387, 485 435, 369 人件費計 52, 433 58, 591 一般職員(人) 6.91 7. 66 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 会計年度嘱託職員(人) 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 再任用職員(人) 会計年度補助職員(人) 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 その他経費 0 0 0 0 0 【関連予算情報】

 予算事業
 予算事業
 予算所属名称

 01-08-02-03-03-01-00-00
 道路整備事業
 建設部道路課

事務事業評価シート2

 評価年度
 令和 5年度
 進捗区分
 2次評価

 所属
 4520000
 建設部道路課

 短縮器号
 00474
 道路整備事業

短縮番号 00474	道路整	備事業						
【定量評価】							上段:目標(値 下段:実績値
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
道路整備延長	m	3, 000. 00 2, 808. 00	3, 000. 00 3, 196. 51	3, 000. 00 0. 00	3, 000.00 0.00	3, 000. 00 0. 00	3, 000.00 0.00	0. 00 0. 00
		0. 00 0. 00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0. 00 0. 00	0.00 0.00	0. 00 0. 00
		0, 00 0, 00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0, 00 0, 00	0.00 0.00	0. 00 0. 00
		0. 00 0. 00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0. 00 0. 00	0.00 0.00	0. 00 0. 00
【定性評価】								•
カテゴリ		評価の観点			基準			ランク
事中評価		事業の優先度	5 4th	の事務事業に優失	- 1 て宝施する心?	垣が ねる		

_13	2性評価】			
	カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
	事中評価	事業の優先度	5 他の事務事業に優先して実施する必要がある	
			4 今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
1			3 どちらかといえば、実施したほうがよい	5
Ι'			2 目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1 事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由			
	事中評価	事業の必要性	5 市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	
			4 安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
1 2			3 安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	⋾⋜
-			2 豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	O
			1 市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由			
	事中評価	事業主体の妥当性	5 他に同種・類似サービスを提供している主体(官民不問)なし	
			4 他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	4
3			3 他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	4
ľ			2 本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	—
			1 本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由			
	事中評価	事業の対象者	5 直接の対象は、すべての市民又は団体である	
			4 直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
١,			3 直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	5
"			2 直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	\mathbf{O}
			1 直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由			
	事中評価	市民ニーズの把握	5 事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大の二一ズにより見直してる	
			4 事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
5			3 事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	5
١			2 事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	O
			1 事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由	1		

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2 次コメント (400文字)			

「つか評価結甲】

0.00

0.00

事務事業評価シート1

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価

所属 4530000 建設部維持課 短縮番号 00475 橋りょう整備事業

【基本情報】

【						
計画次数	04 第二次総合振興	計画/後期基本計画	1			
政策	006 快適で暮らしや	すいまち				
政策達成課題	003 機能的で安全な	道路を整備する				
施策	001 生活道路の整備	を進める				
施策達成課題	001 生活道路の整備	iを進める				
基本事務事業	007 橋りょう整備事	業				
詳細事務事業	001 橋りょう整備事	業				
事業期間	平成25年度 ~					
新規継続区分	継続	継続 経費区分 政策経費 経常臨時区分 経常				
事業主体	市	補助単独区分	補助	ハードソフト	ハード事業	
企画課使用欄	2	事業の分類	法定事務			
根拠法令等	道路法第42条				•	
課題・分析	ければならない。 (H26~H30年度橋りょう定	期点検健全度 判定	た橋りょうについては、点 ☑ 道路橋35橋、横断歩道橋 ☑ 道路橋3橋、横断歩道橋3	2橋)		

【事業分析】

対象 橋りょうの利用者 目的 大規模な改修工事が必要となる前に補修を行い、橋りょうの機能を維持することで、利用者の安全確保と経費 削減を図る。 手段 橋りょうの定期点検及び補修・修繕工事 その他

【コスト】

(単位:千円) 令和 4年度 令和 5年度 令和 6年度 令和 7年度 令和 8年度 令和 9年度 令和10年度 決算額 決算額 予算額 計画額 計画額 計画額 216, 471 トータルコスト 325, 409 254, 800 399, 413 事業費 310, 145 204, 921 254, 800 399, 413 国庫支出金 101, 355 100, 515 64, 020 248, 952 県支出金 0 地方债 0 その他 一般財源 208, 790 104, 406 190, 780 150, 461 人件費計 15, 264 11, 550 一般職員(人) 1.87 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 1. 51 会計年度嘱託職員(人) 0.50 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 再任用職員(人) 会計年度補助職員(人) 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 その他経費 0 0 0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-08-02-04-03-01-00-00	橋りょう整備事業	建設部維持課

IP27P040

事務事業評価シート2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価

0.00

0.00

所属 4530000 建設部維持課 短縮番号 00475 橋りょう整備事業

上段:目標値 下段:実績値 【定量評価】 単位 令和 4年度 | 令和 5年度 | 令和 6年度 | 令和 7年度 令和 8年度 令和 9年度 令和10年度 暦りょう定期点検数 240.00 240.00 0.00 0.00 0.00 0.00 240.00 237.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 横断歩道橋定期点検 0.00 0.00 10.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 10.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00

0.00

0.00

0.00

0.00

0.00

0.00

0.00

0.00

0.00

0.00

	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
【定性評価】							
カテゴ	リ 評価の観点			基準			ランク
事中評価	事業の優先度		务事業に優先して				
		4 今後しに	ばらくの間、継紅	売して実施する	る必要がある		
11		3 どちらた	かといえば、実カ	色したほうがる	たい		5
'		2 目的をあ	ある程度達成して	こおり、実施の	り有無について検	対の余地あり	
		1 事業開始	治時と比較し実カ	色意義が大きく	(低下、又は、目)	的が達成した	
理由							
事中評価	事業の必要性	5 市民又に	は団体の生命・貝	オ産・権利の(保障に不可欠なサ	ービスである	
					こ不可欠なサービ:		1
2		3 安全・3	安心・健康な市員	民生活の水準約	推持に役立つサー	ビスである	4
-		2 豊かな市	†民生活の形成!	こ寄与するサ-	-ビスである		
		1 市民生活	舌の余暇・レク!	リエーション だ	舌動等の充実に寄	与する	
理由							
事中評価	事業主体の妥当性				<u> \る主体(官民不</u>		
					\るのは、他の公:		1
3					頁似サービスを提付		4
					是供しているが、!		
		1 本市で目	民間団体等が同程	重サービス <i>を</i> 打	是供しており、質	量共に勝る	
理由							
事中評価	事業の対象者		対象は、すべての				
					の不特定多数の市		
4)市民又は団体で	<u>ある</u>	:
					民又は団体である		
		1 直接の対	対象は、自ら希望	望する一部の7	5民又は団体であ	<u>5</u>	
理由							
事中評価	市民ニーズの把握				太大のニーズによ		
					真向のニーズによ		$\mathbf{\Omega}$
5					りなニーズにより		
					由自の考えで適宜		
		1 事業規格	臭や万法は、過2	5を踏襲して7	らり、特に見直し	こいない	
□ 理由 【1次評価結果】							
事業の方向性	事業拡大		予算の方向性				
争来の方向性		及び道路構造物(横			香沙F車会ル枚丝		λ A⊈ ≪至
	事業と点検結果による			喫を美心し、1	向米文分叩儿哆陪	引回に基 ノン何米	11多不告
		1.11 Target Tar		DV朴車舎に	トス宝証宝除の結	甲に其づき デジ	5 A II.
1次コメント	技術を活用した点検手						
(400文字)	「大阪を冶川した黒侠」	Aとサバテも。 これ	1-8-7. HIMD 11.	の対象手来と	C C X/IE/J FI RC	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
(40021/							
【2次評価結果】							
事業の方向性	事業拡大		予算の方向性				
	1						
I .	1						

2次コメント (400文字)

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価

所属 4530000 建設部維持課

短縮番号 01622 自転車通行環境整備事業

ATTACAME A CLASS MAN	ANT LANK-SOTTE NO. A. NO.				
【基本情報】					
計画次数	04 第二次総合振興	計画/後期基本計画	Ī		
政策	006 快適で暮らしや	すいまち			
政策達成課題	003 機能的で安全な	道路を整備する			
施策	001 生活道路の整備	を進める			
施策達成課題	001 生活道路の整備	を進める			
基本事務事業	016 自転車通行環境	整備事業			
詳細事務事業	001 自転車通行環境	整備事業			
事業期間	平成30年度 ~ 令和 8年度	9 年間			
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	臨時
事業主体	市	補助単独区分	補助	ハードソフト	ハード事業
企画課使用欄		事業の分類			
根拠法令等	道路法第42条		•		•
	市内北大通線、籠原南地	区、東武線跡地にて	いて、4箇年に分けて計画的	りに自転車通行環境の	り整備をおこなう
	٠				
課題・分析					
BA-AGS 23 1/1					
7 · * * / L · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					

【事業分析】 対象 北大通り、籠原南、東武線跡地における自転車利用者及び歩行者 目的 北大通り、籠原南、東武線跡地での歩行者及び自転車通行者の安全性・快適性を高め、より回遊しやすいまちを 手段 道路の左右に自転車通行帯等の区画線を設置する。 その他 事業期間令和5年度~令和8年度 令和5年度 L=5.8km 令和6年度 L=4.1km 令和7年度 L=3.6m 令和8年度 L=6.7km

【コスト】 (単位:千円) 令和 5年度 令和 6年度 令和 7年度 令和 8年度 令和 9年度 令和 4年度 令和10年度 決算額 予算額 計画額 計画額 計画額 計画額 トータルコスト 50, 401 60,000 156, 364 事業費 48, 795 60,000 156, 364 国庫支出金 18, 466 19,000 86, 000 県支出金 地方债 0 その他 一般財源 30, 329 41,000 70, 364 人件費計 1, 606 一般職員(人) 0.00 0. 21 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 会計年度嘱託職員(人) 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 再任用職員(人) 会計年度補助職員(人) 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 その他経費 0 0 0 0 【関連予算情報】

予算事業番号 予算所属名称 予算事業 01-08-02-02-23-01-00-00 自転車通行環境整備事業 建設部維持課

IP27P040

古梦古坐雪压》

			→ ?	'分=	争耒	: 計半1四 こ	ノート	2		
斤月	西年度 令和 5年 属 4530000 宿番号 01622	建設部	進捗区分 2次評維持課 通行環境整備事業	価						
	量評価】								上段:目標値	下段:実績
	指標名	単位	令和 4年度	令和] 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
2	計地区工事延長	k m	0. 00 0. 00		1.90 0.80	2.00 0.00	2.00 0.00	2. 20 0. 00	0.00 0.00	0. (0. (
Į.	原南地区工事延長	k m	0. 00 0. 00		0. 90 0. 90	1.20 0.00	0.70 0.00	0. 70 0. 00	0.00 0.00	0. (0. (
Ē	^弋 線跡地工事延長	km	0. 00 0. 00		3.00 1.70	0.90 0.00	0.90 0.00	3, 80 0, 00	0.00 0.00	0. (0. (
	- 14 T / T]									
J	<u>性評価</u> カテゴリ		評価の観点				基準			ランク
1	事中評価 理由 事中評価		事業の優先度		4 今 3 ど 2 目 1 事	の事務事業に優先 後しばらくの間、 ちらかといえば、 的をある程度達成 業開始時と比較し 民又は団体の生命	して実施する必 継続して実施す 実施したほうが。 しており、実施 実施意義が大き ・財産・権利の	る必要がある とい の有無について検 く低下、又は、目 保障に不可欠なサ	的が達成した 一ビスである	4
2	理由				3 安 2 豊	全・安心・健康な 全・安心・健康な かな市民生活の形 民生活の余暇・レ	市民生活の水準 成に寄与するサ	推持に役立つサ ー -ビスである	ビスである	4
3	事中評価		事業主体の妥当性		4 他 3 他 2 本	に同種・類似サー に同種・類似サー の公共団体では民 市で民間団体等が 市で民間団体等が	・ビスを提供してし 間団体が同種・ が同種サービスを打	いるのは、他の公 頃似サービスを提 是供しているが、	共団体のみ 供している 質量共に劣る	4
	事中評価		事業の対象者		5 直	接の対象は、すべ	ての古民又は団	*でなる		
4			7.117.7.3. 1		4 直 3 直 2 直	接の対象は、特定接の対象は、特定接の対象は、特定接の対象は、特定接の対象は、特定	属性の広く一般の 属性の特定多数の 属性の一部の市	の不特定多数の市 の市民又は団体で 民又は団体である	ある	5
5	<u>理</u> 由 事中評価		市民ニ―ズの把握		4 3 事 2 事	業規模や方法は、 業規模や方法は、 業規模や方法は、 業規模や方法は、 業規模や方法は、 業規模や方法は、	対象者等の拡大(対象者等の具体的 事業担当部門の	頁向のニーズによ 内なニーズにより 虫自の考えで適宜	り見直してる 見直している 見直している	4
	理由									
_1	次評価結果】									

事業の方向性 予算の方向性 市内北大通線、籠原南地区、東武線跡地について、4箇年に分けて計画的に自転車通行環境の整備をおこなう 1次コメント (400文字)

【2次評価結果】			
事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2次コメント (400文字)			

(単位:千円)

事務事業評価シート1

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価

4530000 建設部維持課 所属 短縮番号 02062

【基本情報】

橋梁点検DX化事業

【								
計画次数	04 第二次総合振興	04 第二次総合振興計画/後期基本計画						
政策	006 快適で暮らしや	すいまち						
政策達成課題	003 機能的で安全な	:道路を整備する						
施策	001 生活道路の整備	を進める						
施策達成課題	001 生活道路の整備	iを進める						
基本事務事業	022 橋梁点検DX化	事業						
詳細事務事業	001 橋梁点検DX化	事業						
事業期間	~							
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常			
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ハード事業			
企画課使用欄		事業の分類						
根拠法令等	道路法42条							
	道路橋については法令に	より5年に1度の点	検が義務づけられているが	、現在、橋梁点検車	や梯子等による近			
	接目視点検を実施している	。国土交通省から、	新技術等の活用を行いコス	ト縮減の検討が求め	られている。			
課題・分析								
DA RES 23 1/1								
Fair alls () de Y	1							

【事業分析】 対象 道路管理者 (熊谷市)

目的 コスト削減を図る。

手段 点群データによる3Dモデルを作成し、3Dモデル上で損傷状況等の確認を行う。

検証を終えた点検作業は「橋りょう整備事業」にて実施することにより、補助金の対象事業として取り扱える。 その他 本事業では、新たな技術等を活用した実証実験を行っていく。

【コスト】

		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータ	ルコスト	0	12, 114	11, 000	15, 231	0	0	0
事	業費	0	10, 967	11, 000	15, 231	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	10, 967	11, 000	15, 231	0	0	0
人	件費計	0	1, 147	0	0	0	0	0
	一般職員(人)	0.00	0.15	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度嘱託職員 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度補助職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他	経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称

IP27P040

事務事業評価シート2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価

4530000 建設部維持課 所属

橋梁点検DX化事業 短縮番号 02062 上段:目標値 下段:実績値 【定量評価】 単位 令和 4年度 令和 5年度 令和 6年度 令和 7年度 令和 8年度 令和 9年度 令和10年度 DX実証実験橋りょう 0.00 20.00 20.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 20.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 【定性評価】 カテゴリ 評価の観点 基準 ランク 事中評価 事業の優先度 5 他の事務事業に優先して実施する必要がある 4 今後しばらくの間、継続して実施する必要がある 5 どちらかといえば、実施したほうがよい 2 目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり 1 事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した 理由事中評価 事業の必要性 5 市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである 4 安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである 3 安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである 豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである 1 市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する 理由 事中評価 事業主体の妥当性 5 他に同種・類似サービスを提供している主体(官民不問)なし 4 他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ 3 他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している 2 本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る 1 本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る 事中評価 事業の対象者 5 直接の対象は、すべての市民又は団体である 4 直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体 直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である 2 直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である 1 直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である 理由事中評価 市民ニーズの把握 5 事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる 4 事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる 3 事業規模や方法は、対象者等の具体的な二一ズにより見直している 2 事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している 1 事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない 理由 【1次評価結果】 予算の方向性 事業の方向性 令和5年度は、橋梁点検のDX化に向け点検結果の検証や課題の抽出を目的とした実証実験を行った。結果を基 に実用化した点検は橋りょう整備事業に移行。令和7年度は損傷AI解析の実証実験を行う。 1次コメント (400文字) 【2次評価結果】 現状維持 事業の方向性 予算の方向性 2次コメント

IP27P041

(400文字)

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2 次評価 所属 4520000 建設部道路課

短縮番号 01860 通学路整備事業

【基本情報】							
計画次数	04 第二次総合振興	計画/後期基本計画	E CONTRACTOR OF THE CONTRACTOR				
政策	006 快適で暮らしや	006 快適で暮らしやすいまち					
政策達成課題	003 機能的で安全な	道路を整備する					
施策	002 通学路の交通安	全対策を進める					
施策達成課題	001 通学路の交通安	全対策を進める					
基本事務事業	002 通学路整備事業						
詳細事務事業	001 通学路整備事業						
事業期間	令和 4年度 ~ 令和 7年度	4 年間					
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常		
事業主体	市	補助単独区分	補助	ハードソフト	ハード事業		
企画課使用欄		事業の分類					
根拠法令等	道路法						
課題・分析	久保島地内における玉井小・玉井中の通学路の安全確保が図られる。						
【事業分析】							

 [事業分析]

 対象
 玉井小学校の児童及び玉井中学校の生徒

 目的
 通学路の安全確保

 手段
 用地買収及び工事

 その他
 その他

【コスト	-]							(単位:千円)
		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータノ	ルコスト	14, 884	32, 119	55, 925	131, 025	0	0	0
事業	美費	6, 006	14, 909	55, 925	131, 025	0	0	0
	国庫支出金	0	4, 675	26, 933	61, 500	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	6, 006	10, 234	28, 992	69, 525	0	0	0
人件	‡費計	8, 878	17, 210	0	0	0	0	0
	一般職員(人)	1.17	2. 25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度嘱託職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度補助職員 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他組	经費	0	0	0	0	0	0	0
【関連予	·算情報】							

予算事業 予算事業番号 予算所属名称

事務事業評価シート2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価

所属 4520000 建設部道路課 短縮番号 01860 通学路整備事業

上段:目標値 下段:実績値 【定量評価】 指標名 事業進捗率【累計】 単位 令和 4年度 令和 5年度 令和 6年度 令和 7年度 令和 8年度 令和 9年度 令和10年度 0.00 0.00 35.00 100.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5 他の事務事業に優先して実施する必要がある 4 今後しばちくの間、継続して実施する必要がある 3 どちらかといえば、実施したほうがよい 2 目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり 1 事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	4
	理由			
2	事中評価	事業の必要性	5 市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである 4 安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである 3 安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである 2 豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである 1 市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	4
	理由			
3	事中評価	事業主体の妥当性	5 他に同種・類似サービスを提供している主体(官民不間)なし 4 他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ 3 他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している 2 本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る 1 本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	4
	理由			
4	事中評価	事業の対象者	5 直接の対象は、すべての市民又は団体である 4 直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体 3 直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である 2 直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である 1 直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	5
	理由			
5	事中評価	市民ニーズの把握	5 事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる 4 事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる 3 事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している 2 事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している 1 事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	3
	理由			
_				

 【1次評価結果】

 事業の方向性

 現状維持

 1次コメント (400文字)

事業の方向性現状維持 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	【乙次計測和未】			
	事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2次コメント (400文字)	2次コメント (4 0 0文字)			

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価

所属 4510000 建設部管理課 短縮番号 01692 道路空洞調查事業

【基本情報】						
計画次数	04 第二次総合振興	計画/後期基本計画	Ī			
政策	006 快適で暮らしやすいまち					
政策達成課題	003 機能的で安全な	道路を整備する				
施策	003 幹線道路を計画	的に整備する				
施策達成課題	001 幹線道路を計画	的に整備する				
基本事務事業	016 道路空洞調査事	業				
詳細事務事業	001 道路空洞調査事	業				
事業期間	平成31年度 ~					
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常	
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ハード事業	
企画課使用欄		事業の分類				
根拠法令等						
根拠法令等						
【事業分析】						

対象 ①道路陥没事故が発生した場合に大きな影響がある幹線であること ②災害時の救援活動に不可欠である緊急輸送路であること ③下水道幹線が埋設されている箇所であること 市道の空洞化調査を行い、路面下の安全性を確認する。 目的 手段 路面下空洞探査車を用いて地中レーダー探査実施を行う。 その他 市道の空洞化調査における一次調査を実施し、路面下の状況によっては、詳細な調査を実施するか、緊急に修繕 を行う必要があるかを確認する。

【コスト】

1		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 /年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータ	!ルコスト	3, 976	4, 361	3, 900	4, 180	0	0	0
事	業費	3, 218	3, 597	3, 900	4, 180	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	3, 218	3, 597	3, 900	4, 180	0	0	0
人	件費計	758	764	0	0	0	0	0
	一般職員(人)	0.10	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度嘱託職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度補助職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他	!経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

IP27P040

予算事業	予算事業番号	予算所属名称

事務事業評価シート2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価

	病 4510000 宿番号 01692 :量評価】	建設部官 道路空洞						上欧、日缅	直 下段:実績
L	指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	JEDN L	714	1718 1772	1712 0-12	1710 0 772	17111 7 +12	1712 0-1/2	1710 0-12	17/11/0-1/2
「定	性評価】			1	-		1		
1.~	カテゴリ		評価の観点			基準			ランク
	事中評価	事	業の優先度	5 ft	也の事務事業に優先	もして実施する必	要がある		
					徐しばらくの間、				
1					ざちらかといえば、				.≺
					的をある程度達成				
-	TID -1-			1 月	業開始時と比較し	<u>、実施意義が大き</u>	く低ト、又は、自	的が達成した	
	理由 事中評価	車	業の必要性	5 #	民又は団体の生命	> . H+产 . 佐刊の	伊磨に不可をかも	z	
		1	****		で 安心・健康な				_
2					で全・安心・健康な				
-				2 豊	とかな市民生活の 形	が成に寄与するサ	― ビスである		
ļ				1 1	F民生活の余暇・L	/クリエ ー ション	活動等の充実に著	子与する	
	理由								
ı	事中評価	事:	業主体の妥当性		<u> </u>				
				- 10	bに同種・類似サー bの公共団体ではE				1
3					市で民間団体等が				4
					市で民間団体等が				
	理由						//		
	事中評価	事	業の対象者	5 🛚	直接の対象は、すぐ	くての市民又は団	体である		
					接の対象は、特定				
4					直接の対象は、特別				\mathcal{O}
					直接の対象は、特別 直接の対象は、自身				
-	理由				1按の対象は、日内	5 布里する一部の	リススは四本でる) ব	
	事中評価	市」	民ニーズの把握	5 4	業規模や方法は、	対象者等の大幅	拡大のニーズによ	り見直してる	
					業規模や方法は、				
5					■業規模や方法は、				•/
-					業規模や方法は、				_
ŀ	TTT -			1	■業規模や方法は、	過去を踏襲して	おり、特に見直し	ていない	
	理由 次評価結果】								
	の方向性	現	大維持		予算の方	向性			
- -	00771 I-1 II		NATE IV		11.34.000	I-VIII.	I		
	スコメント								
(4	00文字)								
[2	次評価結果】								
	の方向性	現物	犬維持		予算の方	向性			
o ·*	マコメント								
	(コメント								
, -									

短縮番号 01482 籠原駅南口線道路改良事業

【基本情報】	111111111111111111111111111111111111111						
計画次数	04 第二次総合振興	04 第二次総合振興計画/後期基本計画					
政策	006 快適で暮らしや	すいまち					
政策達成課題	003 機能的で安全な	道路を整備する					
施策	003 幹線道路を計画	的に整備する					
施策達成課題	001 幹線道路を計画	的に整備する					
基本事務事業	014 籠原駅南口線道	路改良事業					
詳細事務事業	001 籠原駅南口線道	路改良事業					
事業期間	平成27年度 ~ 令和 7年度	11 年間					
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	臨時		
事業主体	市	補助単独区分	補助	ハードソフト	ハード事業		
企画課使用欄		事業の分類					
根拠法令等	道路法、都市計画法						
	平成27年度に地元説明会及	び現況測量を実施し	、地元住民からは早期の事	業完了が望まれてい	る。		
課題・分析							
10 Marie 25 1/1							

 【事業分析】
 都市計画道路籠原駅南口線(市道125号線)の利用者

 目的
 籠原駅へのアクセス性・利便性の向上、児童・生徒の安全な通学の確保。

 手段
 用地買収及び工事を行うことによる。

 その他
 事業期間 平成27年度~令和7年度 延長 L = 約820m、幅員W=16.0m

【コスト】 (単位:千円) 令和 5年度 令和 6年度 令和 7年度 令和 8年度 令和 9年度 令和 4年度 令和10年度 決算額 決算額 予算額 計画額 計画額 計画額 53, 942 トータルコスト 140, 422 138, 000 168, 755 事業費 128, 054 46, 905 138, 000 168, 755 国庫支出金 63, 739 24, 887 80, 000 県支出金 56, 400 20, 500 127, 300 87, 900 地方债 その他 10, 700 一般財源 7, 915 1, 518 855 人件費計 12, 368 7, 037 一般職員(人) 1.63 0. 92 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 会計年度嘱託職員(人) 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 再任用職員(人) 会計年度補助職員(人) 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 その他経費 0 0 0 0 【関連予算情報】

 予算事業
 予算所属名称

 01-08-04-03-13-01-00-00
 能原駅南口線道路改良事業
 建設部道路課

事務事業評価シート2

	審号 01482 量評価】	前官ル		口線道路改良事業					上段:目標	[値 下段:実績
	指標名	単	位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
事業	進捗率【累計】	%		70. 00	75.00		100.00	0.00	0.0	
		-		65. 00	69.00	0.00	0.00	0.00	0.0	0.0
【定	性評価】	-				1				
	カテ:	ı i リ		評価の観点			基準			ランク
ı	事中評価		事	業の優先度		也の事務事業に優先				
						<u>⇒後しばらくの間、</u> どちらかといえば、				1
1						_ うらかといえば、 目的をある程度達成			討の余地あり	4
						業開始時と比較し				
	理由									
	事中評価		事	業の必要性		5民又は団体の生命				
						安全 安心 健康な 安全 安心 健康な				1
2						ミューダル 健康な 豊かな市民生活の形			しへじめる	4
						方民生活の余暇 · レ			与する	
	理由									
	事中評価		事	業主体の妥当性		<u> 也に同種・類似サー</u>				
						也に同種・類似サー 也の公共団体では民				1
3						Bの公共団体では氏 ト市で民間団体等が				4
						k市で民間団体等が				
	理由									
	事中評価		事	業の対象者		直接の対象は、すべ				
						直接の対象は、特定				
4						直接の対象は、特定 直接の対象は、特定				\circ
						直接の対象は、自ら				_
	理由								•	
	事中評価		市」	ミニーズの把握		事業規模や方法は、				
						事業規模や方法は、				2
5						■業規模や方法は、 ■業規模や方法は、				J
						事業規模や方法は、 事業規模や方法は、				_
	理由									
	次評価結果】									
事業	の方向性		現物	犬維持		予算の方向	向性			

【2次評価結果】			
事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2次コメント (400文字)			

(400文字)

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価

所属 4520000 建設部道路課

短縮番号 01751 池上地区「道の駅」関連道路整備事業

【基本情報】							
計画次数	04 第二次総合振興	計画/後期基本計画	Ī				
政策	006 快適で暮らしやすいまち						
政策達成課題	003 機能的で安全な	道路を整備する					
施策	003 幹線道路を計画	的に整備する					
施策達成課題	001 幹線道路を計画	的に整備する					
基本事務事業	017 池上地区「道の	駅」関連道路整備事	業				
詳細事務事業	001 池上地区「道の	駅」関連道路整備事	業				
事業期間	令和 2年度 ~ 令和 8年度	7 年間					
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常		
事業主体	市	補助単独区分	補助	ハードソフト	ハード事業		
企画課使用欄		事業の分類					
根拠法令等	道路法				•		
	東部地域に整備を計画して	いる仮称道の駅「く	まがや」へのアクセス強化	が図られる。			
課題・分析	翅頭 , 公坛						
B41-622 23 1/1							

 【事業分析】

 対象
 池上地区「道の駅」関連道路

 目的
 仮称道の駅「くまがや」のアクセス道路

 手段
 新設道路整備

 その他

【コス	F]							(単位:千円)
		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータ	!ルコスト	33, 281	73, 493	38, 782	435, 319	140, 000	0	0
事	業費	17, 423	52, 459	38, 782	435, 319	140, 000	0	0
	国庫支出金	0	6, 570	16, 516	92, 750	70, 000	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	17, 423	45, 889	22, 266	342, 569	70, 000	0	0
一人	件費計	15, 858	21, 034	0	0	0	0	0
	一般職員(人)	2.09	2. 75	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度嘱託職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度補助職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他	!経費	0	0	0	0	0	0	0
	マ体体が							

 [関連予算情報]

 予算事業
 予算事業番号
 予算所属名称

 01-08-02-03-41-01-00-00
 池上地区「道の駅」関連道路整備事業

 建設部道路課

事務事業評価シート2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価

所属 4520000 建設部道路課

短縮番号 01751 池上地区「道の駅」関連道路整備事業

【定量評価】							上段:目標値	下段:実績値
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
事業進捗率【累計】	%	0. 00 0. 00	0.00 0.00	0.00 0.00	52.00 0.00	100.00 0.00	0.00 0.00	0. 00 0. 00
【定性評価】								
カテゴ	ıJ T	評価の観点			基準			ランク
事中評価	4	事業の優先度		の事務事業に優先 後しばらくの間、				_
1				ちらかといえば、				/
1				的をある程度達成			討の余地あり	—
			1 事	業開始時と比較し	実施意義が大き	く低下、又は、目	的が達成した	
理由		tealls as North In						
事中評価	4	事業の必要性		民又は団体の生命				_
_			<u> </u>	<u>全・安心・健康な</u> 全・安心・健康な				1
2				かな市民生活の形			27.000	4
				民生活の余暇 レ			うする	
理由								
事中評価	4	事業主体の妥当性		に同種・類似サー				
				に同種・類似サー の公共団体では 民				1
3				市で民間団体等か				4
				市で民間団体等か				_
理由								
事中評価	ą	事業の対象者		接の対象は、すべ				
				接の対象は、特定				
4				接の対象は、特定				\mathcal{O}
				接の対象は、特定 接の対象は、自ら				
理由				.按の対象は、日も	加里りる 即の	のと人は四年であ	າຈ <u> </u>	
事中評価	ī	市民ニーズの把握	5 事	業規模や方法は、	対象者等の大幅	拡大のニーズによ	り見直してる	
				業規模や方法は、				\circ
5				業規模や方法は、				:≺
				業規模や方法は、				
700 als			1 事	業規模や方法は、	過去を踏襲して	おり、特に見直し	ていない	
事業の方向性	Đ	見状維持		予算の方[
7-20-7-71-7-12-		7和7年度は、用地買	『収及び工事を進	10.00	7100			
1次コメント								
(400文字)								
【2次評価結果】								
事業の方向性	Ĥ	見状維持		予算の方向	向性			
2 次コメント								
(400文字)								

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価 1010000 総合政策部企画課 所属

短縮番号 00974 総合交通体系整備促進事業

【基本情報】

L CED'TT TIM J							
計画次数	04 第二次総合振興計画/後期基本計画						
政策	006 快適で暮らしやすいまち						
政策達成課題	004 利便性の高い公	:共交通を推進する					
施策	001 持続可能で効率	的な交通ネットワー	-クを構築する				
施策達成課題	001 持続可能で効率	的な交通ネットワー	-クを構築する				
基本事務事業	001 総合交通体系整	備促進事業					
詳細事務事業	001 総合交通体系整	備促進事業					
事業期間	~						
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常		
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業		
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務				
根拠法令等	道路運送法地域公共交通の	活性化及び再生に関	間する法律				
課題・分析	【課題】 ゆうゆうバスは、市内交通不便地域への交通手段確保、高齢者の免許返納対策等に重要であるが、人口減少、ボストコロナにおける社会変容による利用者減少、収益悪化、全国的な運転士不足が課題である。同様に路線バス、鉄道の収益悪化により利用促進を目的とした各協議会の負担額も上昇傾向にある。 【分析】人口減少、高齢化が進む中、利便性が高く持続可能な地域公共交通を編成していくことが求められる。						

【事業分析】 対象 市民及び来訪者 路線バス等既存交通との適切な役割分担のもと、本市の公共交通体系の整備・充実を図る。 目的 手段 本市では、鉄道、路線バス及びゆうゆうバスなどの公共交通が連携した利便性の高い公共交通ネットワークの再 編を目指す「熊谷市地域公共交通計画」に基づき、計画的に事業を実施している。事業実施の際には、市民、事 業者、国、県、公安関係者等で構成されている「熊谷市地域公共交通会議」の場において審議している。 その他 ・地域公共交通のあるべき姿を審議する「地域公共交通会議」の開催 ゆうゆうバス事業者への運行補助の実施 ・路線バス事業者、鉄道事業者への補助の実施

【コスト】 (単位:千円) 令和 4年度 令和 5年度 令和 6年度 令和 7年度 令和 8年度 令和 9年度 令和10年度 決算額 決算額 予算額 計画額 計画額 計画額 計画額 186, 792 367, 523 トータルコスト 153, 095 202, 796 事業費 147, 253 178, 379 202, 796 367, 523 国庫支出金 12, 469 17, 119 県支出金 1, 913 11, 002 2,000 2,000 地方债 0 0 0 その他 一般財源 145, 340 154, 908 200, 796 348, 404 人件費計 5, 842 8, 413 一般職員(人) 0.77 1.10 1.08 0.00 0.00 0.00 0.00 会計年度嘱託職員(人) 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 再任用職員(人) 会計年度補助職員(人) 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 その他経費 0 0 0 0 【関連予算情報】

予算事業番号 予算所属名称 予算事業 01-02-01-07-06-01-00-00 総合交通体系整備促進事業 総合政策部企画課

IP27P040

事務事業評価シート2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価 所属 1010000 総合政策部企画課

短縮番号 00974 総合交通体系整備促進事業

【定量評価 <u>】</u> 指標:	名	単位	ά	令和 4年度	令和	0 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	上段:目標個	下段:実績 令和10年度		
共交通に満 市民の割合	起してい	%		50.00 41.80		50.00 43.70	50.00	50.00 0.00	50.00 0.00	50.00	50. 0		
うゆうバス	ス利用者数	 Д		250, 000. 00	2	50, 000.00	250, 000.00	250, 000.00	250, 000. 00	250, 000.00	250, 000. (
		^		222, 217. 00	2	45, 227. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0		
				0. 00 0. 00		0.00 0.00	0.00	0.00 0.00	0, 00 0, 00	0.00 0.00	0. 0 0. 0		
(定性評価)													
	カテゴリ			評価の観点				基準			ランク		
事中評価			事業	(の優先度		5 他	2の事務事業に優先	して実施する必要	要がある				
						4 4	後しばらくの間、	継続して実施する	る必要がある		Л		
1						3 8	<u>゙゙ちらかといえば、</u>	実施したほうが。	よい		4		
'						2 ⊨	的をある程度達成	しており、実施の	の有無について検	討の余地あり			
						1 事	業開始時と比較し	実施意義が大き	〈低下、又は、目	的が達成した			
理由				民及び来訪者の移	助手段	の維持・石	准保のため						
事中評価			事業	の必要性		5 市	民又は団体の生命	計産 権利の任	呆障に不可欠 なサ	ービスである			
							全・安心・健康な						
2						3 支	全・安心・健康な	市民生活の水準線	推持に役立つサー	-ビスである	≺		
4						2 豊	かな市民生活の形	成に寄与するサー	ービスである		J		
						1 rt	民生活の余暇・レ	クリエーション	舌動等の充実に寄	与する			
理由			市目	民及び来訪者の移	助手段								
事中評価	i			主体の妥当性			2に同種・類似サー	-ビスを提供してし	ハる主体(官民不	間)なし			
			1				2に同種・類似サー						
3							の公共団体では民						
3							市で民間団体等か				—		
							市で民間団体等か						
理由			民間	路線バスでは採	重が取			17127 27127	20000000				
事中評価				の対象者	T 13 7/		<u></u>	ての市民又は団化	太 である				
7 1 21 1			1.2	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			接の対象は、特定			民又は団体	_		
.							接の対象は、特定				—		
4							直接の対象は、特定				∃ ວ		
							接の対象は、自ら				_		
理由			± 6	足及び来訪者に広	/ £II E			110 E 7 TO 110071		1.0			
事中評価	1			ミニーズの把握 ニニーズの把握	<u> тил</u>		・ 業規模や方法は、	社会学等の士師	++のブに b	川日志 L テス			
-1- 1- Im			1,172	(業規模や方法は、				_		
							業規模や方法は、				7		
5							業規模や方法は、 業規模や方法は、				J		
							*未規模や万法は、 業規模や方法は、				_		
理由			1.5-	が黒亜切笠を立	4 750		●業規模や万法は、 の見直しを行ってし		ゎッ、foll≂兄担し	C 0 1/4 0 1			
	±里1		1/1/	N以世女主守で又!	/、炬	<u>:н/v— РС</u>	の元世しを11つ(し	· · · · ·					
			主 类	*拡大			予算の方[台性					
事業の方向性	<u> </u>			.,,,,,,	口油,	いわ草絵ル	<u> </u>		カス本市におい	ア 投動手扱の時	/ 早維		
							の延17か更に加速 計画を策定する。						
					01201	、Maas基本	P計画を束足りる。	市和/平茂から4	基本計画を元に	AIA JT Y J FX	通り		
1 次コメント			1-6	ごスを実装する。									
(400文字	-)												
To water to the	± m 1		_										
【2次評価組			- HH-	- +r -			2 M						
事業の方向性	±		争等	拡大			予算の方	可性					
2 次コメント	-												
(400文字													

IP27P041

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価 所属 4030000 都市整備部公園緑地課 短縮番号 00950 公園サポーター制度推進事業

【基本情報】								
計画次数	04 第二次総合振興	04 第二次総合振興計画/後期基本計画						
政策	006 快適で暮らしや	すいまち						
政策達成課題	005 親しみある魅力	的な公園を創出する)					
施策	001 特性を生かした	魅力的な都市公園を	·創出する					
施策達成課題	001 特性を生かした	魅力的な都市公園を	創出する					
基本事務事業	005 公園サポーター	制度推進事業						
詳細事務事業	001 公園サポーター	制度推進事業						
事業期間	平成21年度 ~							
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	臨時			
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業			
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務					
根拠法令等	熊谷市公園サポーター制度実施要領							
	公園サポーター制度への加入について、自治会や利用団体等へ働きかけた結果、前年度に比べ導入数は増えたが							
	、公園数も増えたため加入率は微減となった。高齢化によって継続が困難な自治会も増えており、加入率の向上							
	や活動の活性化を図るため、報償金の増額だけではなく、新たな支援策について検討する必要がある。							
課題・分析								
200								

【事業分析】 対象 公園サポーター制度 目的 │住民と行政が協働で快適な公園環境の維持・保全を図るため、公園サポーター制度の導入を推進する。 手段 公園の除草や清掃等の管理・美化活動に対し、備品や報償金を支給する。また、緑化・花いっぱい活動等に対し ても支援する。 公園サポーター制度の導入を推進する。 その他

【コスト】 (単位:千円) 令和 5年度 令和 6年度 令和 7年度 令和 8年度 令和 9年度 令和 4年度 令和10年度 決算額 予算額 計画額 計画額 計画額 計画額 23, 488 トータルコスト 22, 302 15. 737 16, 108 事業費 14, 714 15, 839 15, 737 16, 108 国庫支出金 県支出金 0 0 0 0 地方債 0 0 その他 15, 737 一般財源 14, 714 15, 839 16, 108 人件費計 7 588 7, 649 0.00 0.00 0.00 一般職員(人) 1.00 1.00 0.00 0.00 会計年度嘱託職員(人) 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 再任用職員(人) 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 会計年度補助職員(人) 0 00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 その他経費 0 0 0 0 【関連予算情報】

予算所属名称 予算事業 予算事業番号 01-08-04-05-25-01-00-00 公園サポーター制度推進事業 都市整備部公園緑地課

IP27P040

事務事業評価シート2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価 4030000 都市整備部公園緑地課 公園サポーター制度推進事業

所属 短縮番号 00950 上段:目標値 下段:実績値 【定量評価】 単位 令和 4年度 令和 5年度 令和 6年度 令和 7年度 令和 8年度 令和 9年度 令和10年度 公園サポーター制度導 80.00 80.00 80.00 80.00 80.00 80.00 75 50 75 30 0.00 【定性評価】 カテゴリ 評価の観点 基準 ランク 事中評価 事業の優先度 5 他の事務事業に優先して実施する必要がある 4 今後しばらくの間、継続して実施する必要がある 5 どちらかといえば、実施したほうがよい 2 目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり 1 事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した 理由事中評価 事業の必要性 5 市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである 4 安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである 3 3 安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである 豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである 1 市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する 理由 事中評価 事業主体の妥当性 5 他に同種・類似サービスを提供している主体(官民不問)なし 4 他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ 3 他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している 2 本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る 1 本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る 事中評価 事業の対象者 5 直接の対象は、すべての市民又は団体である 4 直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体 3 直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である 2 直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である 1 直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である 理由事中評価 市民ニーズの把握 事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる 4 事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる 3 事業規模や方法は、対象者等の具体的な二ーズにより見直している 2 事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している 1 事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない 【1次評価結果】 現状維持 予算の方向性 事業の方向性 1次コメント (400文字) 【2次評価結果】 現状維持 事業の方向性 予算の方向性 2次コメント (400文字)

【基本情報】					
計画次数	04 第二次総合振興	計画/後期基本計画			
政策	006 快適で暮らしや	すいまち			
政策達成課題	005 親しみある魅力	的な公園を創出する			
施策	001 特性を生かした	魅力的な都市公園を	創出する		
施策達成課題	001 特性を生かした	魅力的な都市公園を	創出する		
基本事務事業	031 熊谷運動公園子	供広場整備事業			
詳細事務事業	001 熊谷運動公園子	供広場整備事業			
事業期間	令和 5年度 ~ 令和 6年度	2 年間			
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ハード事業
企画課使用欄		事業の分類			
根拠法令等					
課題・分析	屋外ブールに代わる新たな	賑わいの創出、潜在	利用者の掘り起こし		

 [事業分析]

 対象
 市民(主に子育て世代の親子や学生・公園利用者、スケートボード愛好者など)

 目的
 利用者の活性化やイメージアップ、スポーツ環境の向上

 手段
 その他

						(単位:千円)
令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
0	8, 286	200, 000	92, 334	0	0	0
0	7, 904	200, 000	92, 334	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	7, 904	200, 000	92, 334	0	0	0
0	382	0	0	0	0	0
0.00	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00	0.00	0.00
0.00	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0	0	0	0	0	0	0
	決算額 0	決算額 決算額 0 8,286 0 7,904 0 0 0 0 0 0 0 0 0 7,904 0 382 0.00 0.05 0.00 0.05 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00	決算額 決算額 予算額 0 8.286 200,000 0 7,904 200,000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 7,904 200,000 0 382 0 0.00 0.05 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00	決算額 決算額 予算額 計画額 0 8.286 200,000 92,334 0 7,904 200,000 92,334 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 7,994 200,000 92,334 0 382 0 0 0.00 0.05 0.00 0.00 0.00 0.05 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00	決算額 決算額 予算額 計画額 計画額 0 8.286 200,000 92,334 0 0 7,904 200,000 92,334 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 7,904 200,000 92,334 0 0 0 382 0 0 0 0 0.00 0.05 0.00 0.00 0.00 0 0.00 0.05 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00	決算額 決算額 予算額 計画額 計画額 0 8.286 200,000 92,334 0 0 0 7,904 200,000 92,334 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0

予算事業	予算事業番号	予算所属名称

事務事業評価シート2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価 4030000 都市整備部公園緑地課 所属 短縮番号 02068 能谷運動公園子供広場整備事業 上段:目標値 下段:実績値 【定量評価】 令和 4年度 | 令和 5年度 | 令和 6年度 | 令和 7年度 令和 8年度 令和 9年度 令和10年度 【定性評価】 カテゴリ 評価の観点 基準 ランク 事中評価 事業の優先度 5 他の事務事業に優先して実施する必要がある 4 今後しばらくの間、継続して実施する必要がある 5 どちらかといえば、実施したほうがよい 2 目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり 1 事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した 理由事中評価 公園利用者の活性化やイメージアップ、スポーツ環境向上のため 事業の必要性 5 市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである 4 安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである 3 安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである 豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである 1 市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する 理由事中評価 事業主体の妥当性 5 他に同種・類似サービスを提供している主体(官民不問)なし 4 他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ 3 他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している 2 本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る 1 本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る 事中評価 事業の対象者 5 直接の対象は、すべての市民又は団体である 4 直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体 直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である 2 直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である 1 直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である 理由事中評価 5 事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる 4 事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる 市民ニーズの把握 3 事業規模や方法は、対象者等の具体的な二一ズにより見直している 2 事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している 1 事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない 理由 【1次評価結果】 予算の方向性 事業の方向性 〇【熊谷市誕生20周年記念】じゃぶじゃぶ池のオープニングセレモニー ・オープン日にイベントとして、キッチンカーや大型のエアスライダーの設置 ・オープニングセレモニー前後1週間の夜間にイルミネーション点灯 1次コメント ○スケートポード場については、今後、利用者の意見を反映しながら施設の充実を図っていく。 (400文字) 【2次評価結果】 現状維持 事業の方向性 予算の方向性 2次コメント (400文字)